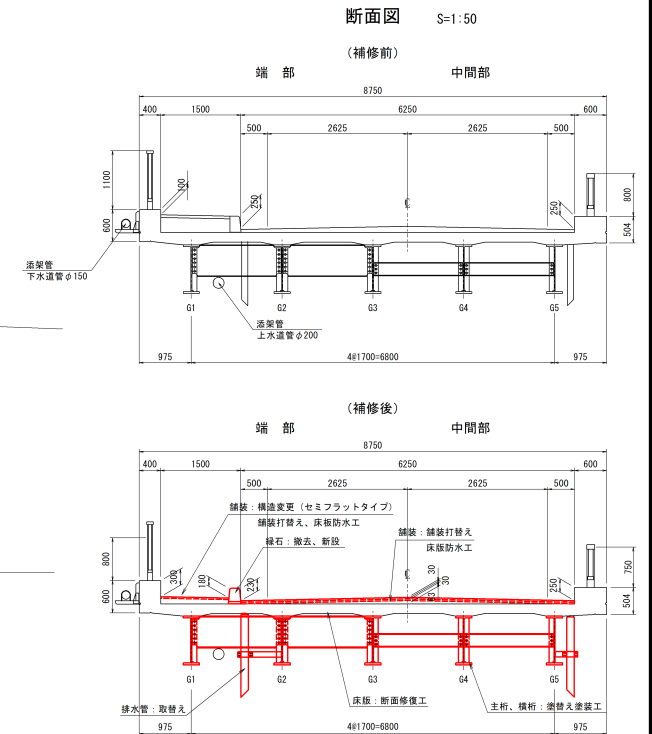
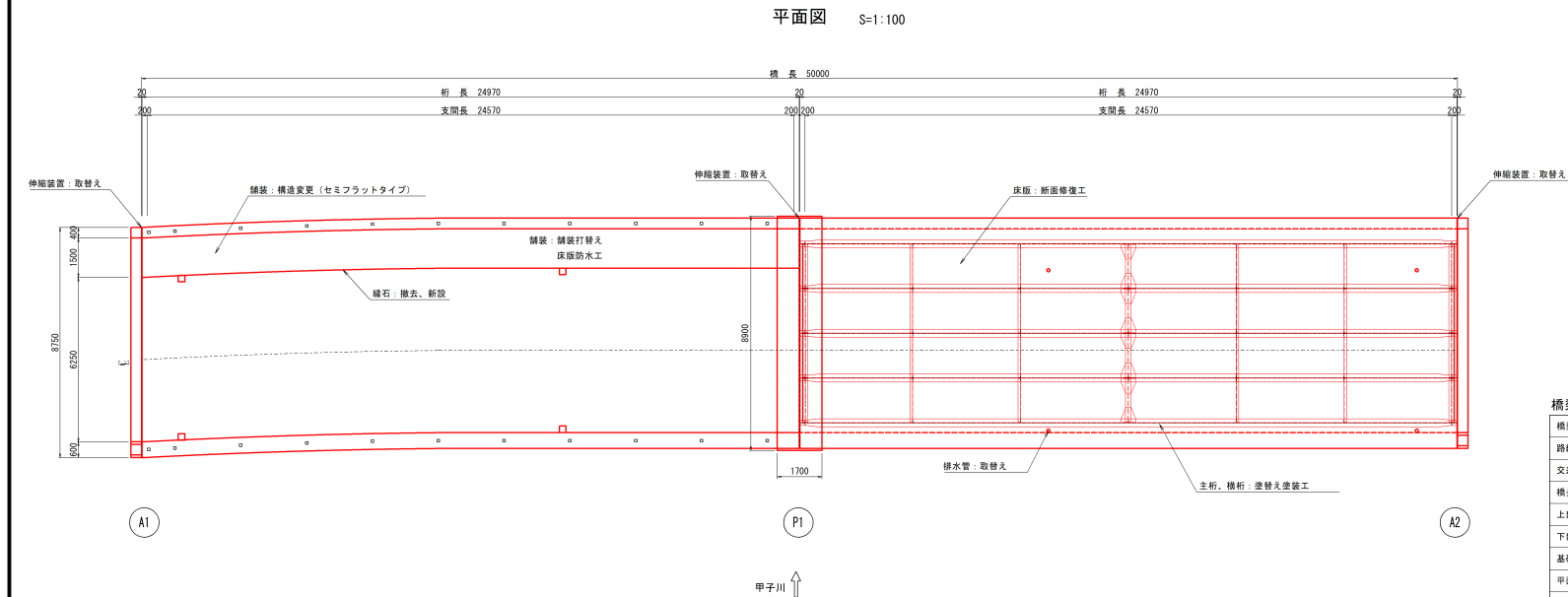
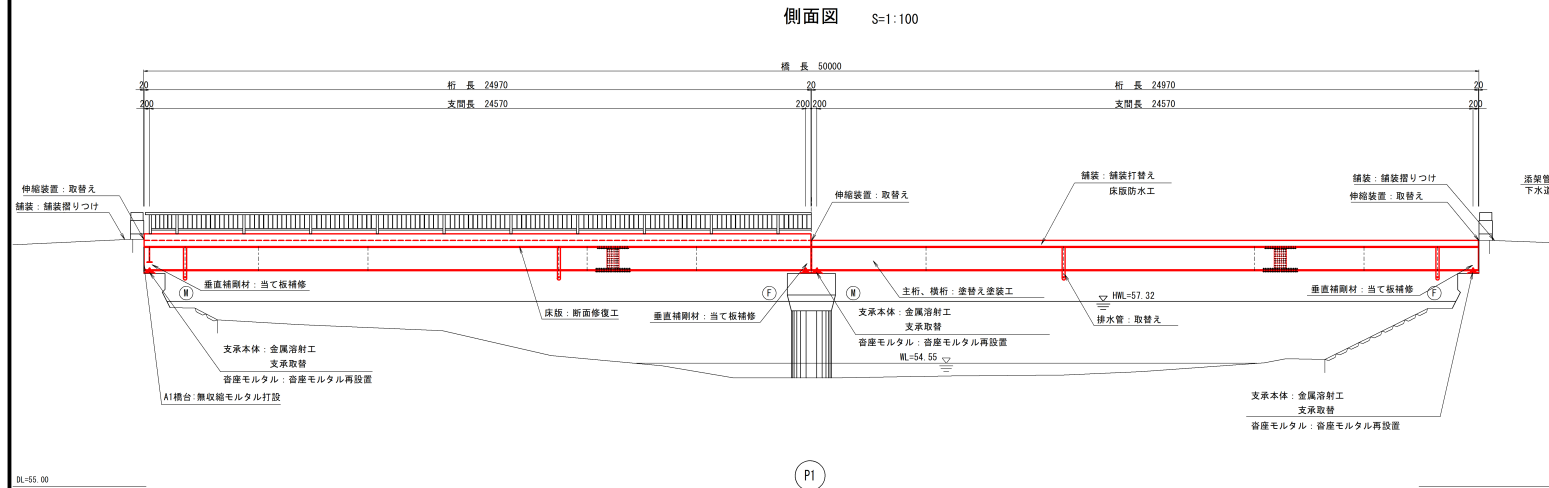


補修計画一般図



補修計画一覧

部材		補修項目
上郡工	主桁	当て板補修（垂直補剛材）
	横桁	塗替え塗装工（Rc-1塗装系）
	床版	断面修復工
	橋台	無収縮モルタル打設（開口部）
下部工	支承本体	金属溶射工、支承取替
	音障モルタル	音障モルタル再設置
路 上	伸縮装置	取替え（非排水型）
	縁石	撤去、新設
	舗装（車道）	舗装打替え、床版防水工
	舗装（歩道）	構造変更（セミフラットタイプ）、舗装打替え
		床版防水工、舗装掘りつけ
排水施設	排水管	取替え

橋梁諸元

橋愛名	坪内橋
路線名	市道坪内御倉線
交差種別	河川（甲子川）
橋長	L=50.00m
上部工形式	単跨鋼合流形鋼桁橋2連
下部工形式	重力式橋台、張出式橋脚（小判型柱）
基礎形式	直接基礎
平面線形	R=∞
斜角	θ=90°
幅員	B=8.75m
活荷重	TL-20
舗装	アスファルト舗装
架設年度	1978年（昭和53年）

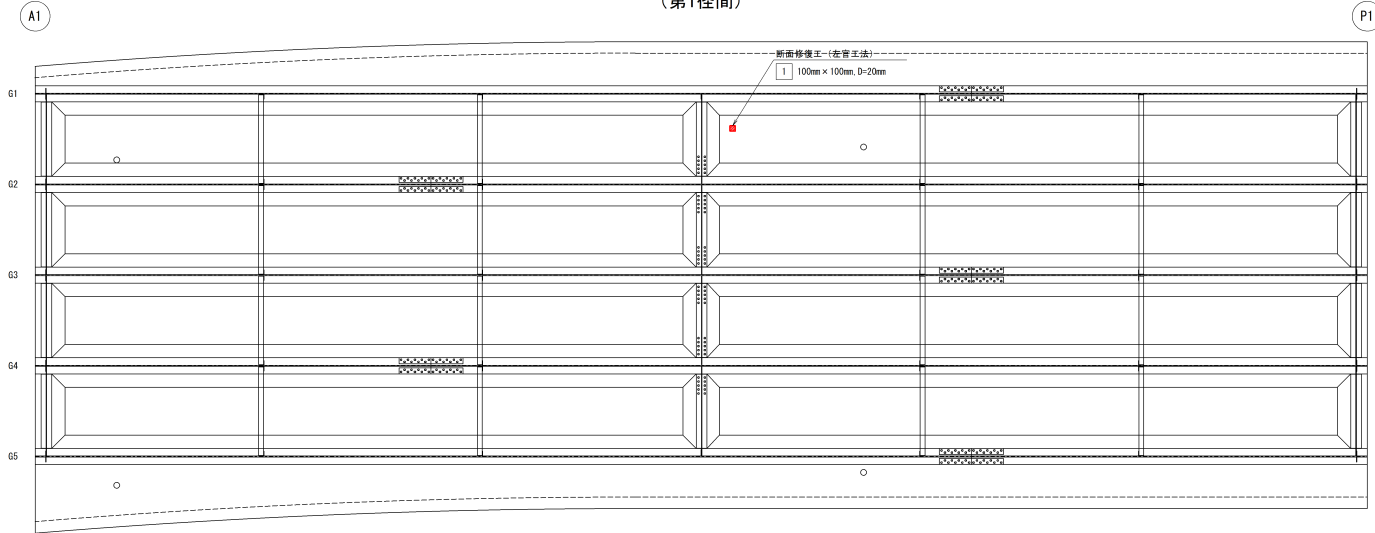
岩 手 県 金 石 市	
市道坪内銅倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 1	補修計画一般図
令和	7 年度
坪内銅倉線（坪内横）橋梁補修工事	
施 尺	図 示

床版補修図

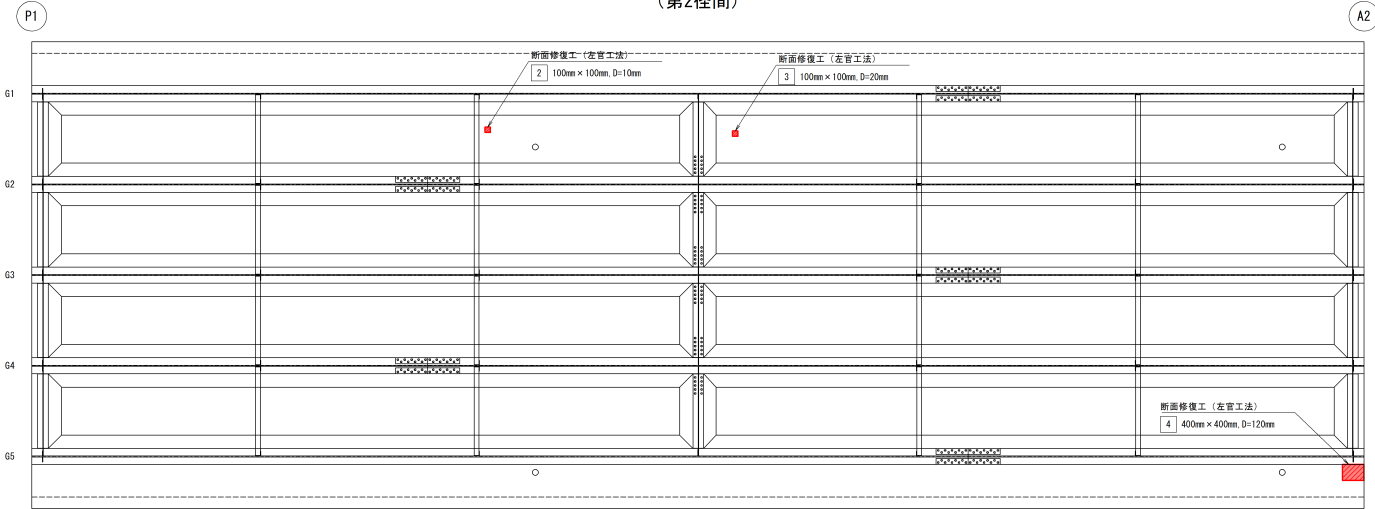
S=1:50

平面図

(第1径間)

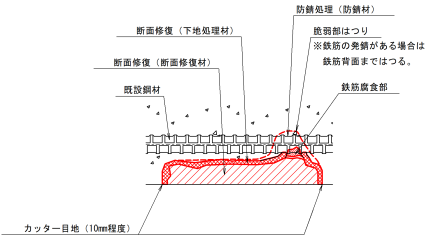


(第2径間)



断面修復工概要図

左官工法



【注記】
・補修部の表面は現地状況に合わせた表面処理を行うこと。
・既設鉄筋の錆は取り残しが無いように十分に除去すること。
・フェザーエッジを作らないように、端部はカッター処理を行うこと。

【材料仕様】
断面修復材 ポリマーセメントモルタル

断面修復工 施工順序

1. 補修範囲決定
2. カッター切り
3. 劣化部除去(コンクリートはつり)
4. 鉄筋ケレン
5. 鉄筋防錆処理
6. プライマー処理
7. 断面修復(左官)
8. 養生

断面修復工数量表

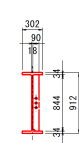
項 目	補 修 部 位		番号	平 面 寸 法 (mm)	深 さ (mm)	箇所数	面 積 (m ²)	体 積 (m ³)	摘 要
断面修復工 (左官工法)	床版	第1径間	1	100 × 100	20	1	0.010	0.0002	
		第2径間	2	100 × 100	10	1	0.010	0.0001	
			3	100 × 100	20	1	0.010	0.0002	
			4	400 × 400	120	1	0.160	0.0192	
		合 計					0.190	0.0197	

注記)
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・断面修復工については、危工時に改めて打音検査を行い、施工範囲を確定すること。
また、制振深さを計測し、断面修復深さを検査すること。なお、施工時に不良部の叩き落とし等にて補修範囲が増加する可能性がある。
・露出した鉄筋表面には防錆処理を行い、欠損面にはプライマーを塗布し、付着効果を確実にすること。

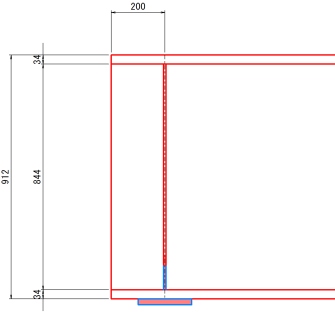
岩手県釜石市	
市道坪内鎮倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 2	床版補修図
令和 7 年度	
坪内鎮倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

$$S=1:4C$$

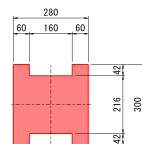
G1桁 A1-P1



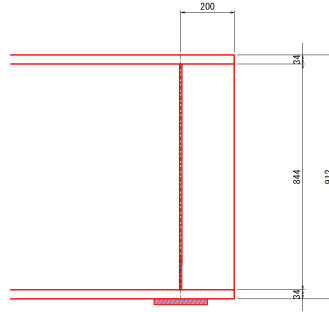
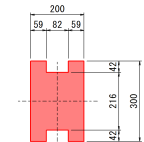
S=1:10



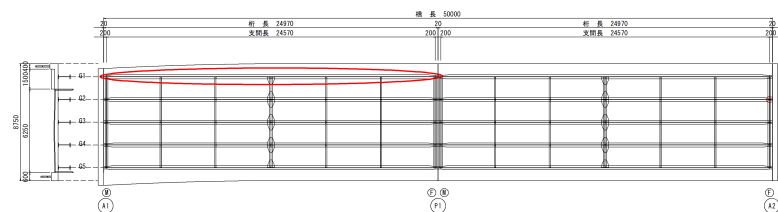
S=1:10



S=1:10

 $S=1:10$ 

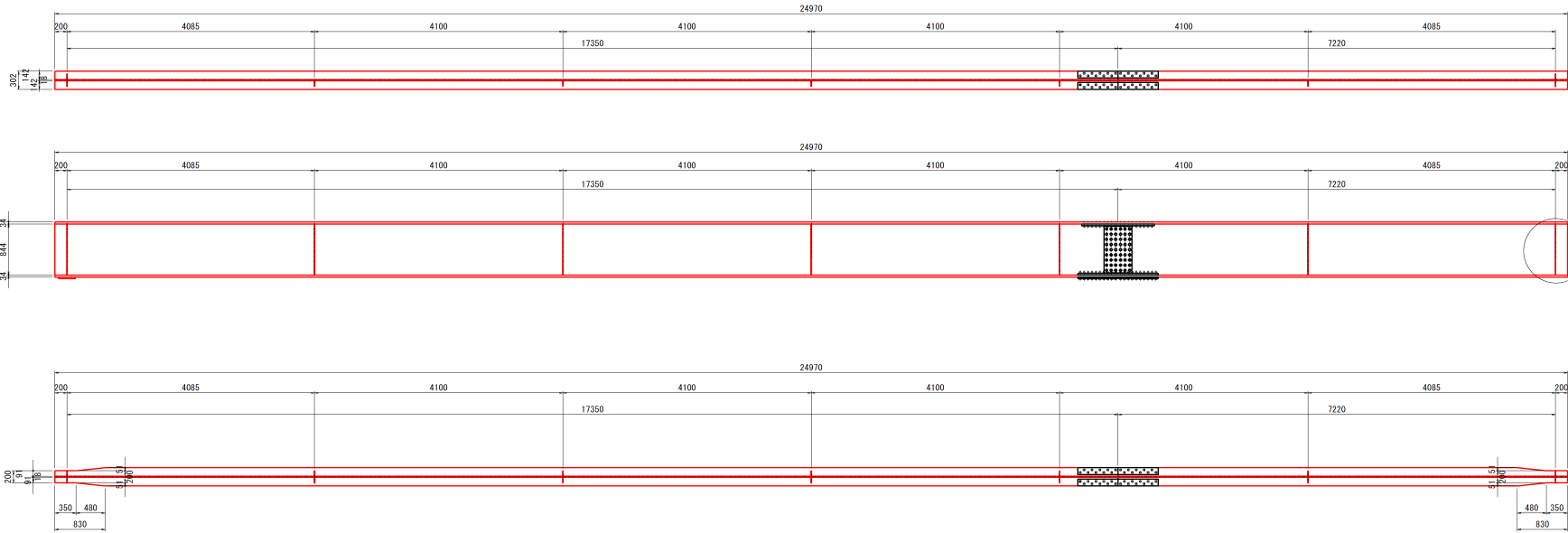
S=1 : 200



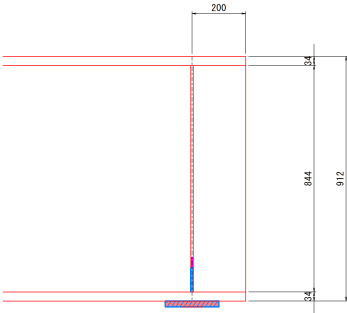
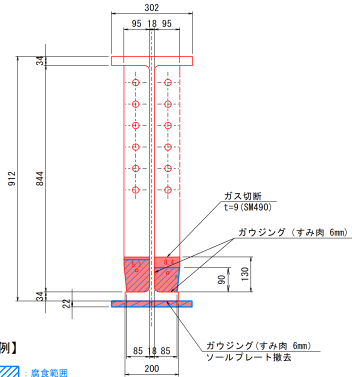
岩手県金石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 3	主桁撤去図 (1/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

主桁撤去図 (2/2) S=1:40

G2桁 P1-A2



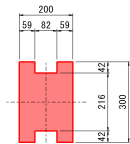
a部詳細図 S=1:10



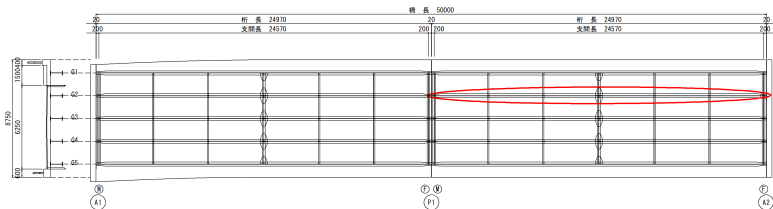
ソールプレート詳細図 S=1:10

- 【凡例】
- 撤去範囲
 - 撤去孔
 - 板厚実測値 (mm)

撤去数量
2-PL 95x9x130 (SM490A)
1-SOLE PL 200x22x300 (SM490A)



平面図 S=1:200

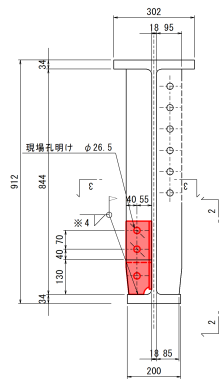


岩 手 県 釜 石 市	
市道 坪内鍋倉線	釜石市甲子町第3地割地内
全 30 枚ノ中 其 4	主桁撤去図 (2/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

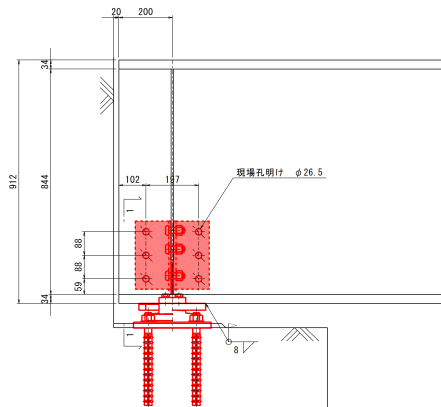
主桁補強図(1/3)

G1桁 A1-P1

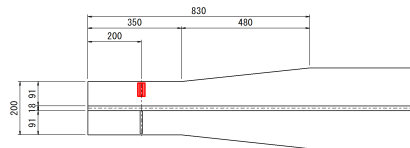
補強詳細図 A1橋台部 S=1:10



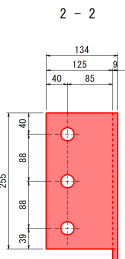
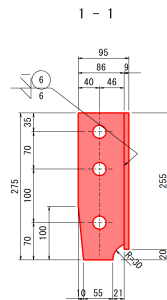
2-現場孔明け φ=26.5(t=9)



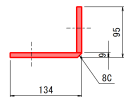
6-現場孔明け φ=26.5(t=18)



補強材詳細図 S=1:5

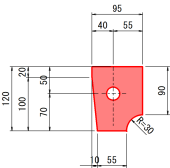


3 - 3



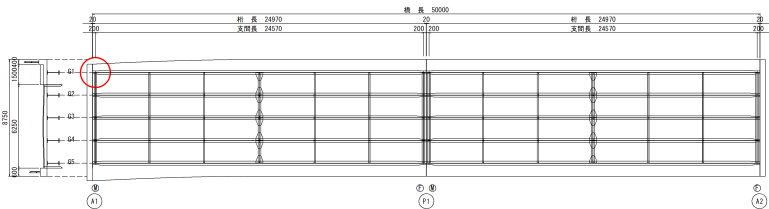
2-PL 134x9x255 (SM400A)
2-PL 86x9x275 (SM400A)
9-TCB W22x65 (S10T)

ファイラー詳細図 S=1:5



1-FILL PL 95x9x120 (SM400A)

平面図 S=1:200



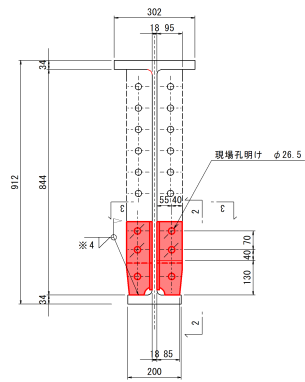
- 注記)
1. 寸印は、TCB W22 (S10T) を示す。
 2. 孔径はφ26.5とする。
 3. 溶印は、止材を目的としてすみ肉溶接としているが、補鋼材と下フランジの隙間は5mmで設置するものとする。
 4. 詳細寸法は、現場を調査、実測後に結果を反映すること。

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 5	主桁補強図(1/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

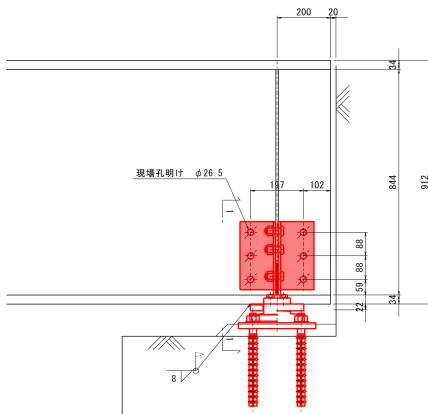
主桁補強図(3/3)

G2桁 P1-A2

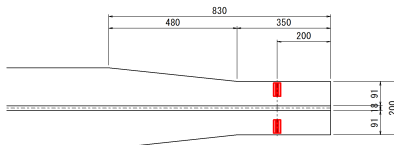
補強詳細図 A2橋台部 S=1:10



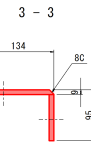
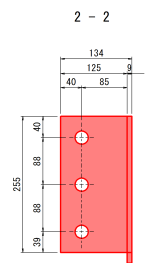
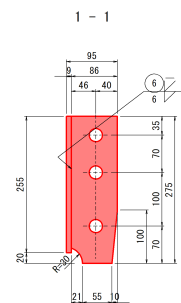
4-現場孔明け φ=26.5(t=9)



6-現場孔明け φ=26.5(t=18)

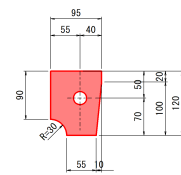


補強材詳細図 S=1:5



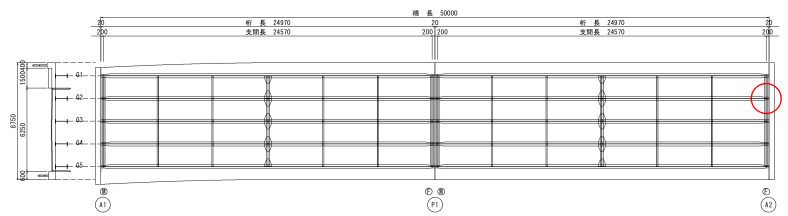
4-PL 134x9x255 (SM400A)
4-PL 86x9x275 (SM400A)
6-TCB M22x75 (S10T)
6-TCB M22x65 (S10T)

フィラー詳細図 S=1:5



製作数 N=2
1-FILL PL 95x9x120 (SM400A)

平面図 S=1:200



注記
1. 令印は、TCB M22 (S10T) を示す。
2. 孔径はφ26.5とする。
3. 張印は、止水を目的としてすみ肉溶接としているが、補剛材と下フランジの隙間は0mmで設置するものとする。
4. 詳細寸法は、現場を調査、実測後に結果を反映すること。

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 7	主桁補強図 (3/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

塗装区分図

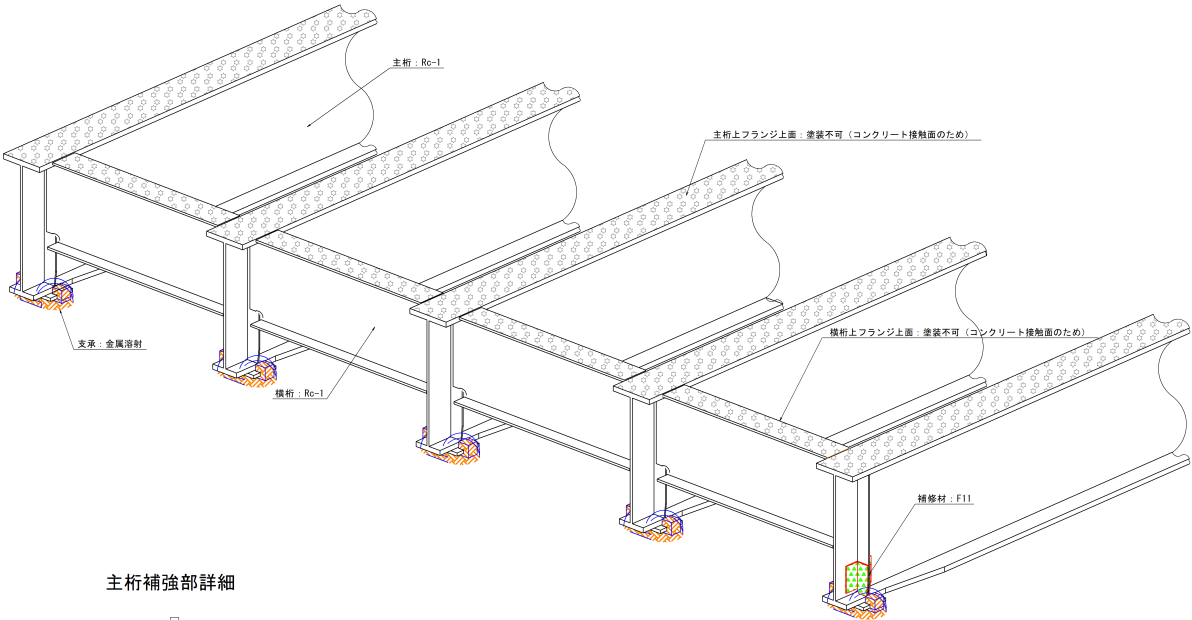
塗装仕様

Rc-I塗装系（スプレー）

塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	1種		4時間以内
防食下地	有機ジnkリッチペイント	600	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
下塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	240	1日～10日
中塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	170	1日～10日
上塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	140	1日～10日

注1：腐蝕剥離さびの除去にあたっては、素地調整程度1種の前にハンマーや動力工具によるさび落としを事前に行うこと。

注2：素地調整後には、付着塩分量が50mg/m2以下となっていること確認し、50mg/m2以下となっていない場合には、水洗いなどによって塩分除去を行うこと。



高力ボルト連結部の塗装仕様 F-11（一般部塗装系C-5）

塗装工程	塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	1次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	スプレー	160 (15)	6ヶ月以内
製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	防食下地	無機ジnkリッチペイント	スプレー	600 75	1年以内
現場	素地調整	動力工具処理 ISO St 3			4時間以内
	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料下塗	スプレー (はけ・ローラー)	160 (130)	1日～10日
	下塗	超厚膜形エポキシ樹脂塗料	スプレー (はけ・ローラー)	1100 (500x2)	1日～10日
	中塗	ふっ素樹脂塗料用中塗	スプレー (はけ・ローラー)	170 (140)	1日～10日
	上塗	ふっ素樹脂塗料上塗	スプレー (はけ・ローラー)	140 (120)	1日～10日

注1：塗料使用量：スプレーとし、（＊＊＊）ははけ・ローラー塗りの場合を示す。

注2：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。

注3：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

注4：母材と添接板の接触面は、製作工場の無機ジnkリッチペイントまで塗布する。

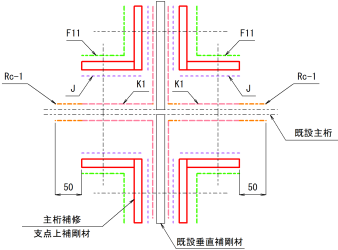
注5：超厚膜形エポキシ樹脂塗料を適用することで防食性の向上と工程短縮を図ることが出来るが、一般面と比べて仕上がり外観は劣る

注6：防せい処理ボルトの場合は、添接板も含め高力ボルト頭部にミストコートから塗装する。

注7：防せい処理ボルトを使用しない場合は、高力ボルト頭部に素地調整後、

有機ジnkリッチペイント 240g/m2 x 2回（はけ塗り、塗装間隔は1日～10日）を塗布した後、添接板も含め、ミストコートから塗装する。

主桁補強部詳細



凡例

- 塗装塗装（外面）〈現場〉
- 1種ケレン
- 新設塗装（外面・添接部）〈工場・現場〉
- ボルト接合部（接触面）
- 無塗装（コンクリート接触面）
- 金属溶射

Rc-I	
K1	
F11	
J	

注記）

- 図中に示す諸数値は全て参考値である。施工前には必ず現地計測を行い、計測結果に基づき監督員と協議の上、数値を決定すること。
- 既設桁の塗膜剥離は遅延化して行うこと。
- 高力ボルトは防錆処理ボルトを使用のこと。

高力ボルト接触面・仮設材 J

塗装工程	塗料名	塗料方法	使用量 (g/m2)	目標膜厚 (μm)	塗装間隔
製鋼工場	素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	プライマー	無機ジnkリッチプライマー	スプレー	160 (15)	6ヶ月以内
製作工場	2次素地調整	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2			4時間以内
	防食下地	無機ジnkリッチペイント	スプレー	600 75	4時間以内

注1：プライマーの膜厚は総合膜厚に加えない。

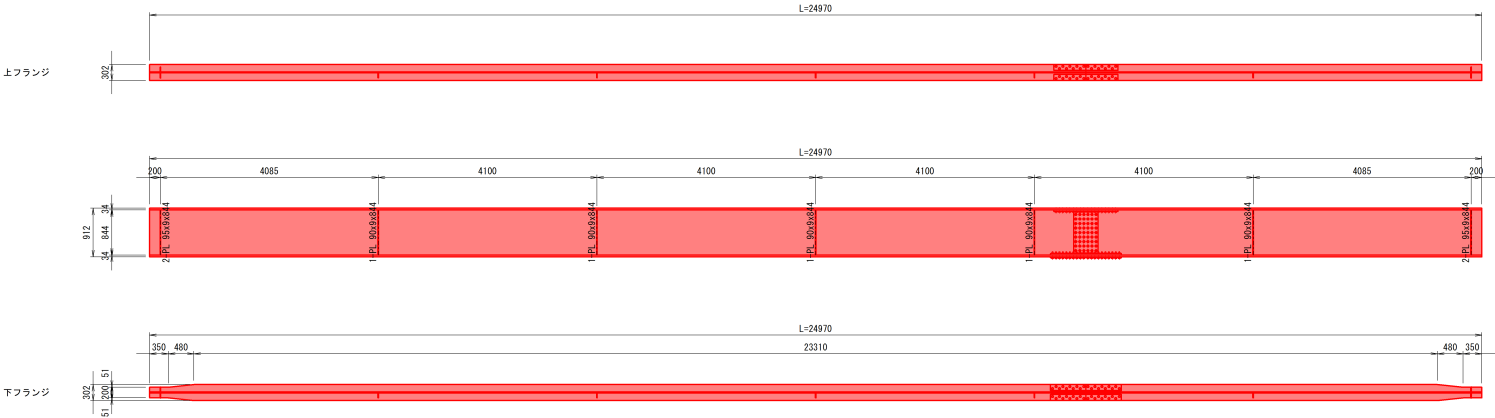
注2：製鋼工場におけるプライマーは膜厚にて管理する。

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 8	塗装区分図
令和 7 年度	
坪内鍋倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

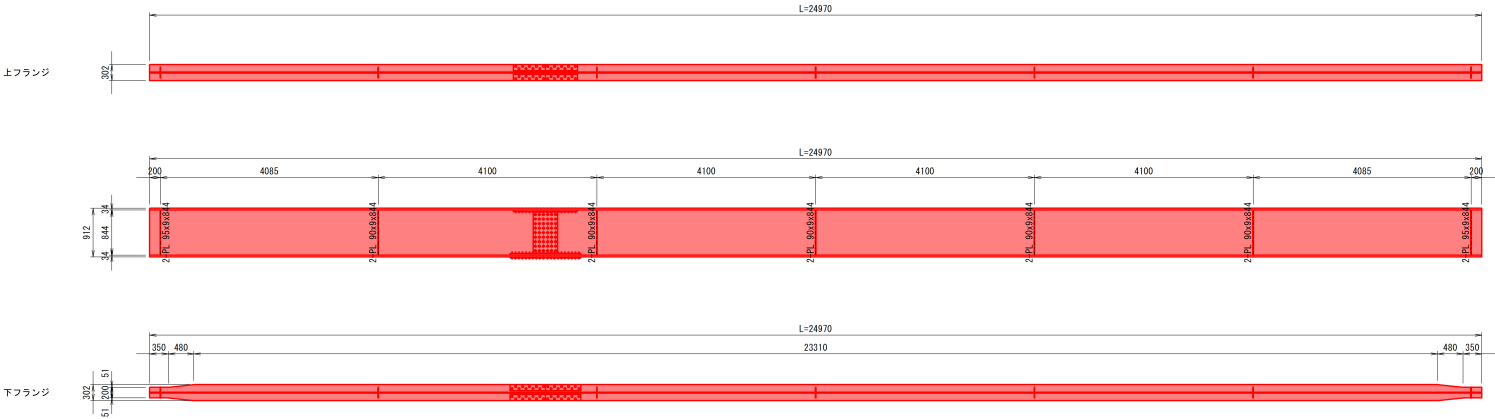
塗替え塗装工詳細図(1/2) S=1:50

主 桁
(H-912x302x18x34)

G1, G5桁



G2, G3, G4桁



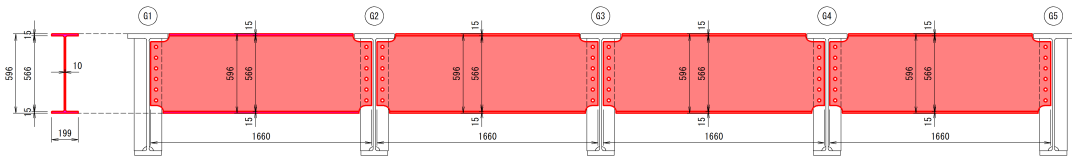
注記)
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

岩 手 県 釜 石 市	
市 道 坪 内 鍋 倉 線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 9	塗替え塗装工 詳細図(1/2)
令和 7 年 度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

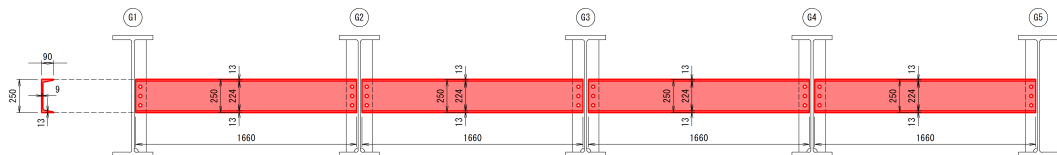
塗替え塗装工詳細図(2/2)

横 析 S=1:20

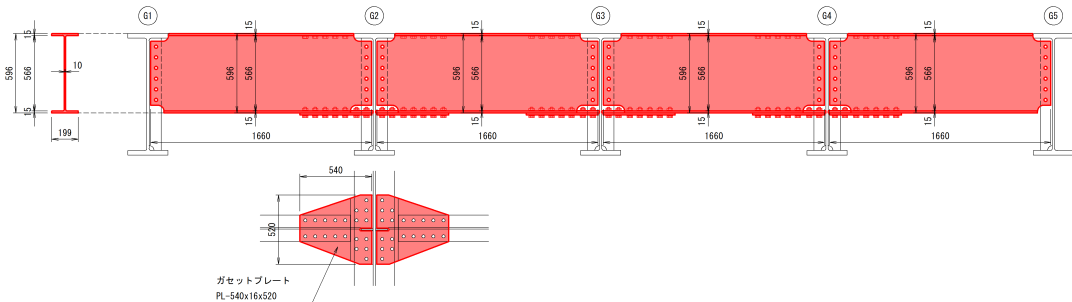
端横析
(H-596x199x10x15)



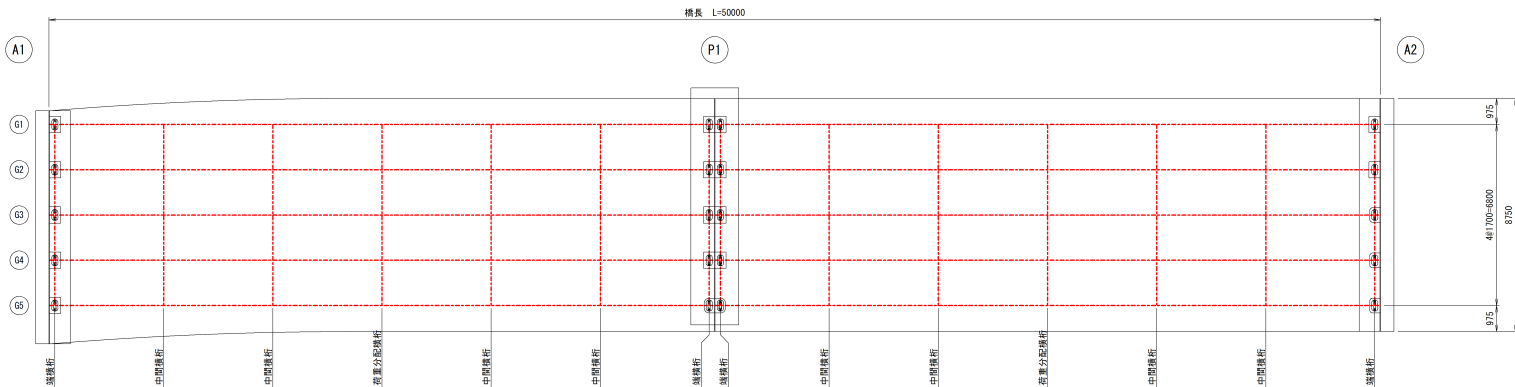
中間横析
(L-250x90x9x13)



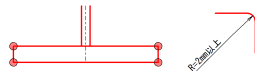
荷重分配横析
(H-596x199x10x15)



配置図 S=1:100



部材曲面仕上げ図

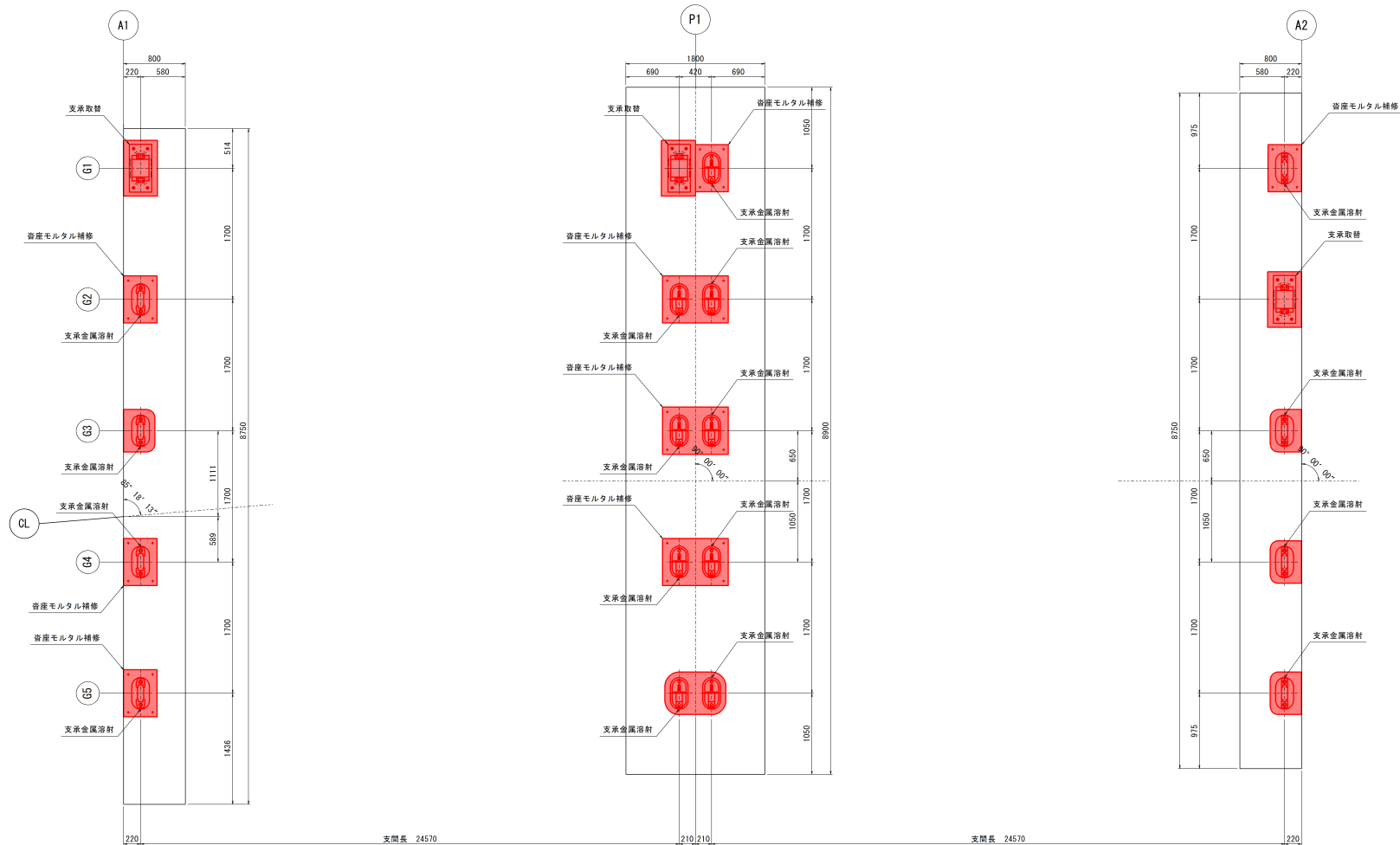


下フランジの角部（上図の丸囲み）はR=2mm以上で面取りを行うこと。

注記)
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

岩 手 県 釜 石 市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 10	塗替え塗装工 詳細図(2/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

支承配置図 S=1:30



岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 11	支承配置図
令和 7 年度	
坪内鍋倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

支承補修図

S=1:10

A1橋台、P1橋脚（終点側）

P1橋脚（起点側）、A2橋台

支承防錆処理 施工手順



正面図

側面図

正面図

側面図

平面図

平面図

線支承（可動） 金属溶射数量

- ・反力：45t（30t超、150t以下）
- ・潤滑性防錆剤注入あり
- ・A1：4基
- ・P1（終点側）：5基

線支承（固定） 金属溶射数量

- ・反力：45t（30t超、150t以下）
- ・潤滑性防錆剤注入あり
- ・P1（起点側）：4基
- ・A2：4基

金属溶射の塗装仕様

素地調整	プラスト処理 除錆度1508501-1 Sa 2 1/2以上 表面粗さRz50μm以上（または粗面化処理Rz50μm以上） プラスト処理などにより密着油分、水分、塵埃等を除去し、清浄面とする。
金属溶射	最小被覆厚さ100μm以上 亜鉛・アルミニウム合金及び銅合金
封孔処理	封孔処理剤 スプレー塗装
塗 装	ふっ素樹脂塗料用中塗（200g/m ² ）30μm ふっ素樹脂塗料上塗（150g/m ² ）25μm

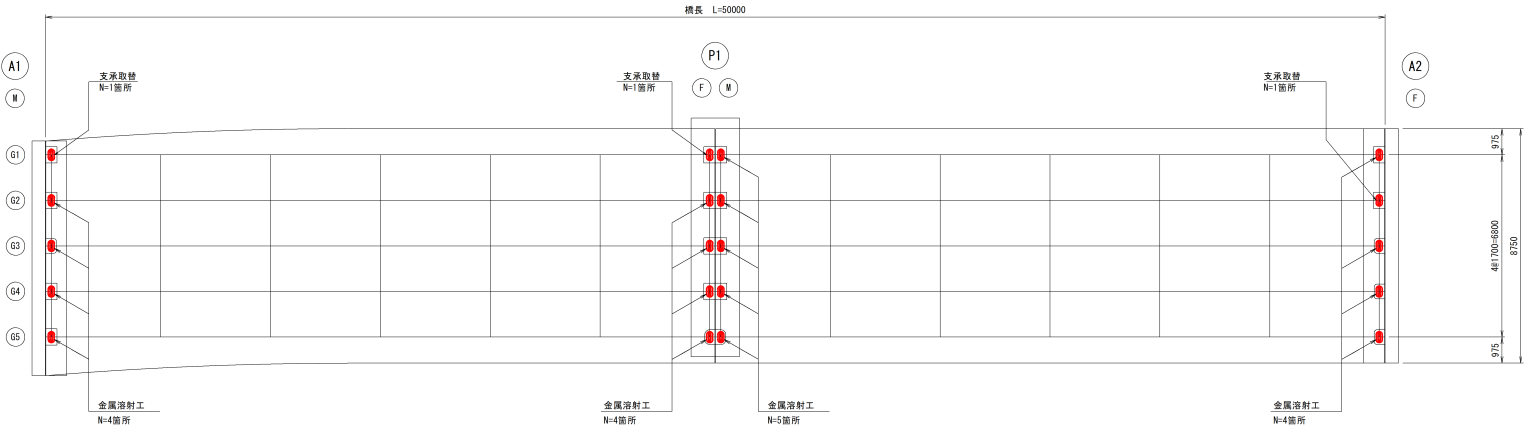
注1：上記仕様を採用する場合の塗装作業については、鋼道路橋防食便覧の第Ⅱ編塗装編を参照する。

注2：金属溶射底層は凹みがあるので、密着仕上げを行う場合の塗料使用量は、通常塗装に比べて若干多く使用することによって、概ね平均に仕上がる。

塗装間隔など、その他の事項は鋼道路橋防食便覧の第Ⅱ編塗装編に従うが、中塗り、上塗り使用量については経験上表中の数値が望ましい。

配置図

S=1:100



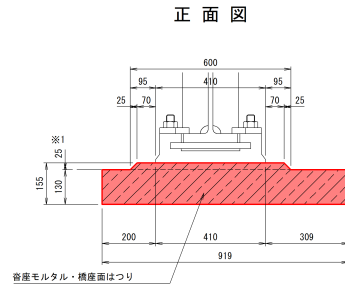
注記）

- ・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

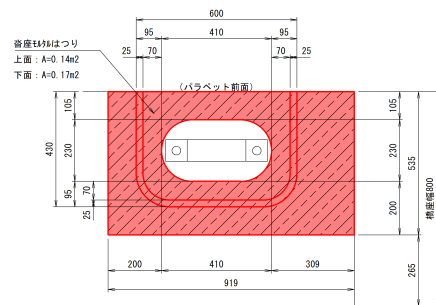
岩手県金石市	
市道坪内飼倉線	金石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 12	支承補修図
令和 7 年度	
坪内飼倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台 支承取替え部

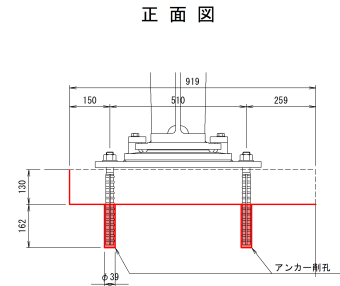
橋座面はつり $S=1:10$



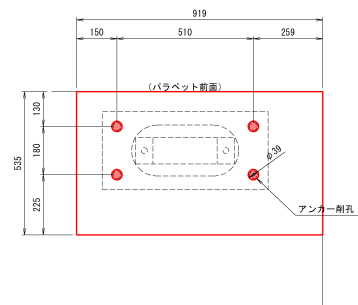
平面図



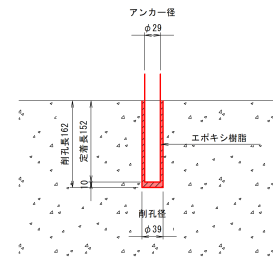
支承アンカー削孔 S=1:10



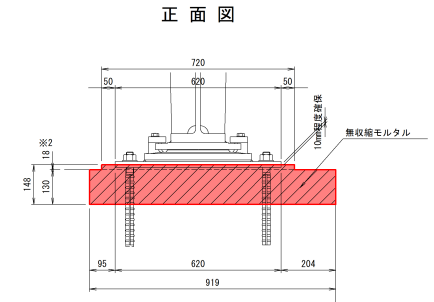
平面图



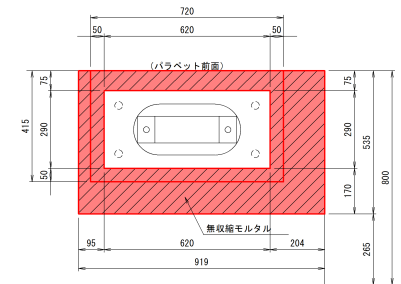
アンカ一定着部詳細図 S=1:5



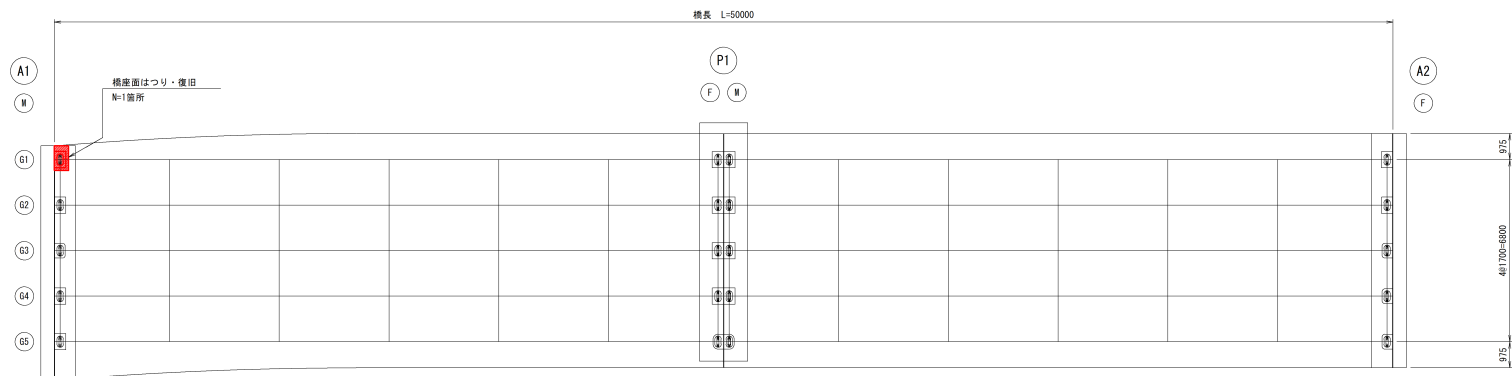
橋座、沓座モルタル復旧 S=1:10



平面图



配置図 S=1:100



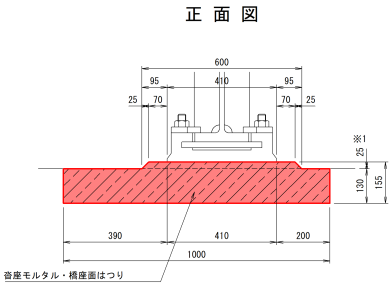
注記)
・現況の音座モルタル高(※1)は想定値を示す。
・新設の音座モルタル高(※2)は、現地計測の上、高さを調整すること。

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 13	橋座面はつり ・復旧図 (1/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

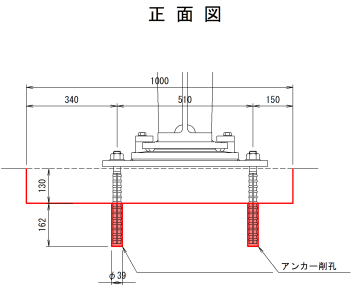
橋座面はつり・復旧図(2/3)

P1橋脚 支承取替え部

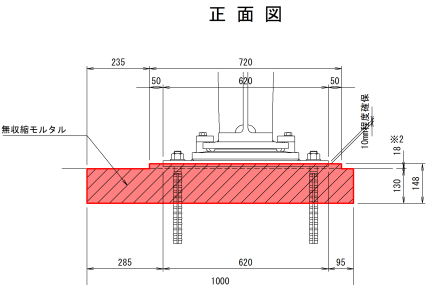
橋座面はつり S=1:10



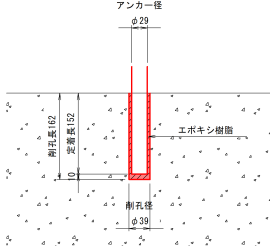
支承アンカー削孔 S=1:10



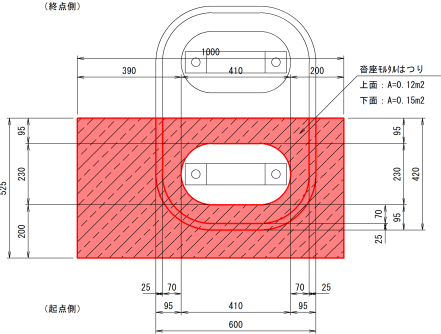
橋座、脊座モルタル復旧 S=1:10



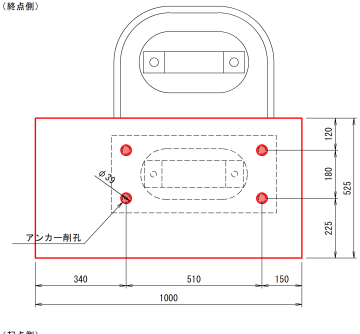
アンカー定着部詳細図 S=1:5



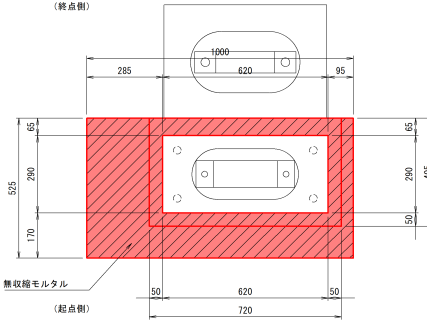
平面図



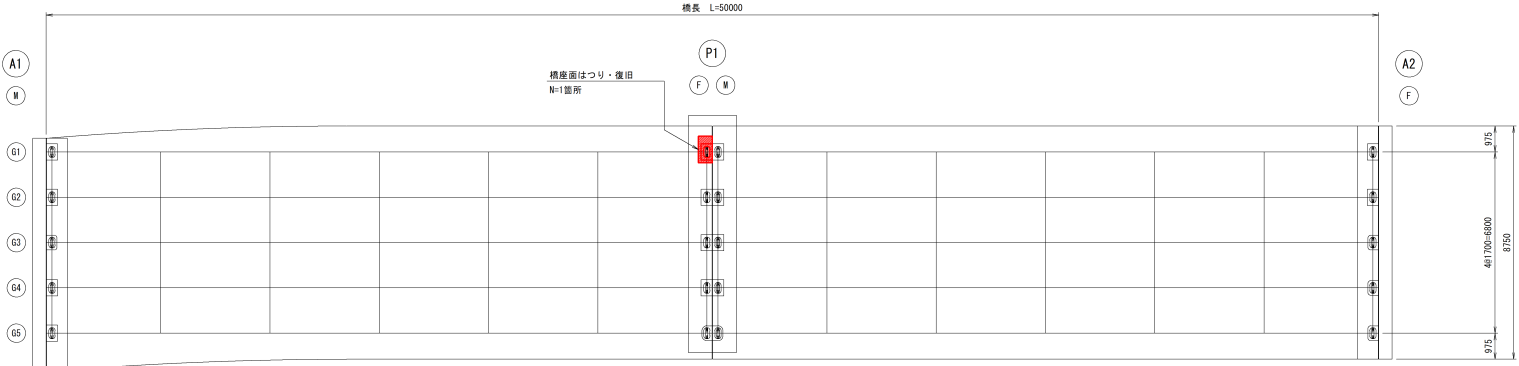
平面図



平面図



配置図 S=1:100



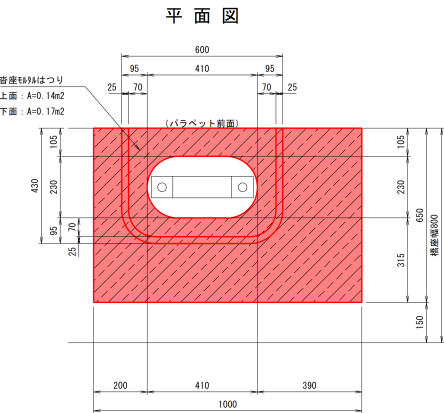
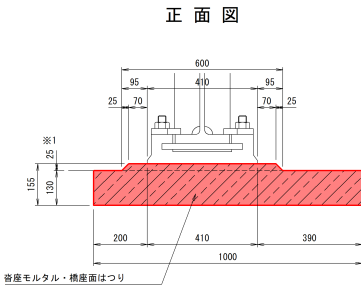
注記)
・現況の音座モルタル高(※1)は想定値を示す。
・新設の音座モルタル高(※2)は、現地計測の上、高さを調整すること。

岩手県釜石市	
市道 坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 14	橋座面はつり ・復旧図(2/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

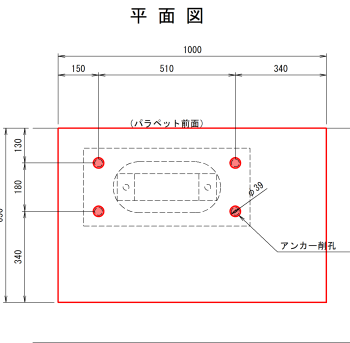
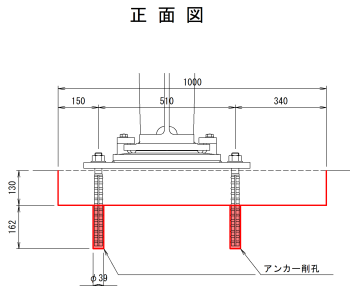
橋座面はつり・復旧図(3/3)

A2橋台 支承取替え部

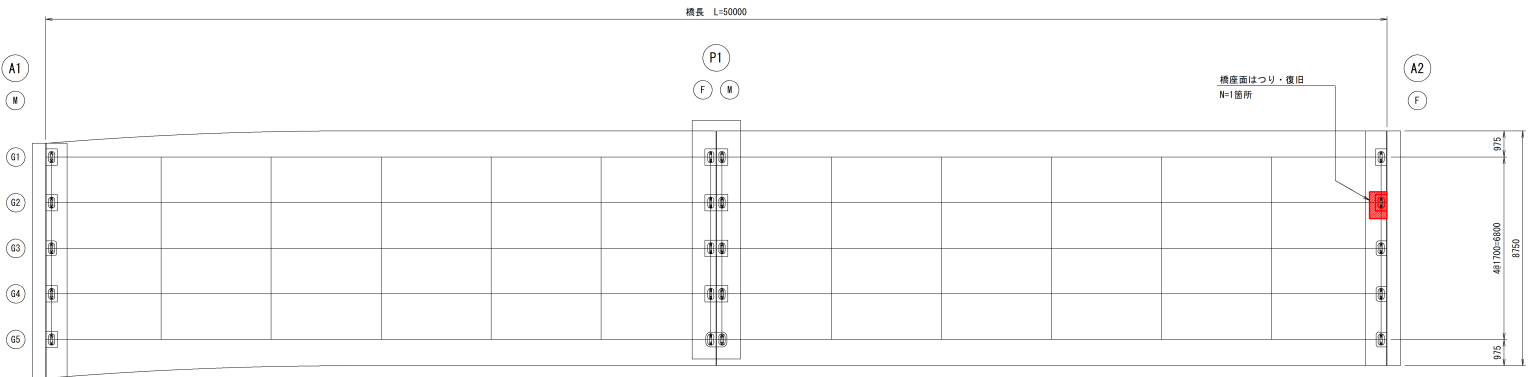
橋座面はつり S=1:10



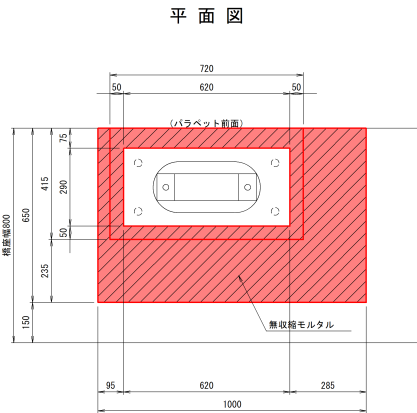
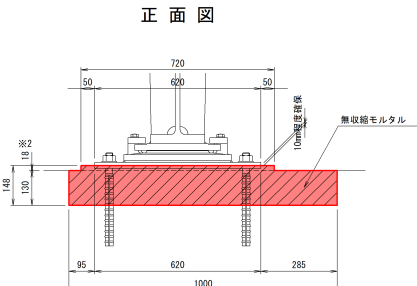
支承アンカー削孔 S=1:10



配置図 S=1:100



橋座、沓座モルタル復旧 S=1:10



注記
・現状の沓座モルタル高(※1)は想定値を示す。
・新設の沓座モルタル高(※2)は、現地計測の上、高さを調整すること。

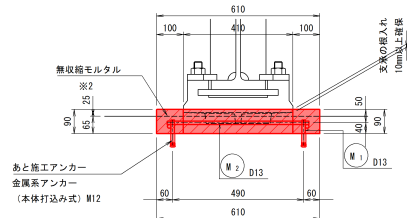
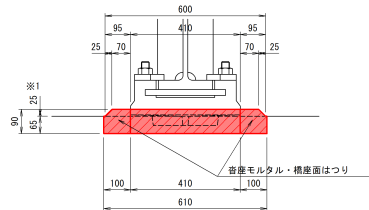
岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第3地割地内
全 30 枚ノ中 其 15	橋座面はつり ・復旧図(3/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

S=1:10

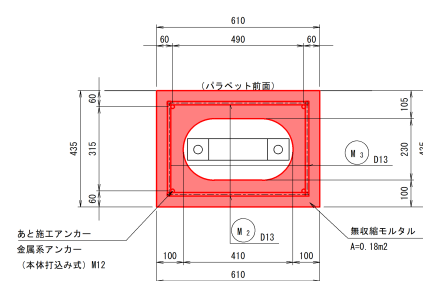
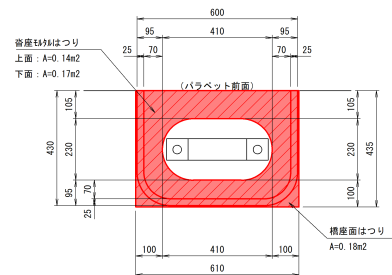
沓座モルタル再設置

沓座モルタル設置

正面図



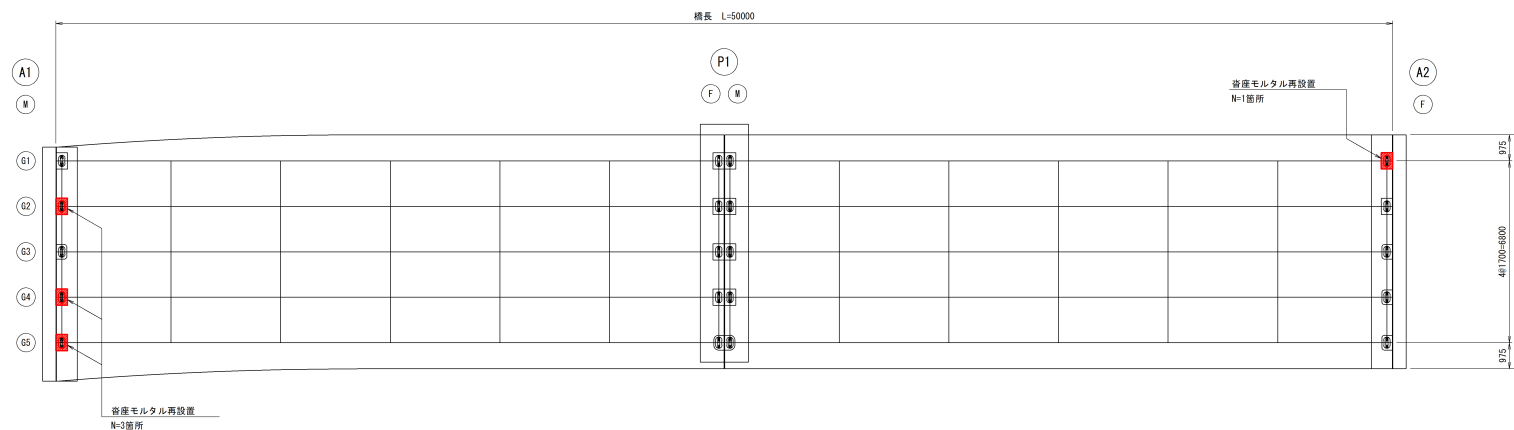
平面図



(1箇所当たり)

記 号	径	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/本)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	換 算
W1	D13	70	4	0.995	0.07	1	┃
W2	D13	530	2	0.995	0.53	1	—
W3	D13	340	2	0.995	0.34	1	—
						D13	2.02 kg (SD345)
合計						2.02 kg	(SD345)
あと施工アンカー 金属系アンカー（本体打込み式）W12						4 本	

S=1:100



注記)

- ・現況の音座モルタル高(※1)は想定値を示す。
- ・新設の音座モルタル高(※2)は、現地計測の上、高さを調整すること。
- ・モルタルと下部工の確実な定着を図るため、鉄筋で定着するものとする。

岩 手 県 釜 石 市	
市道 坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 16	畜産モルタル補修図 (1/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内横) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

沓座モルタル補修図 (2/3)

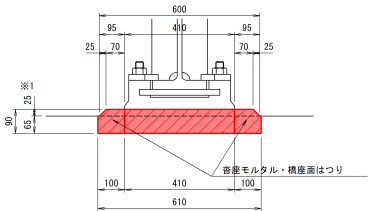
S=1:10

P1橋脚

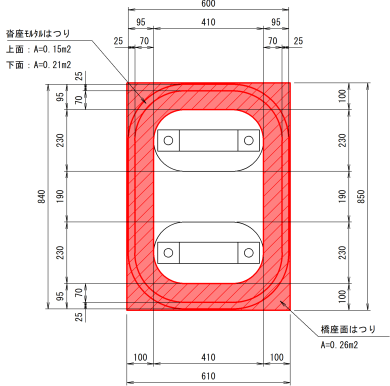
沓座モルタル再設置

橋座面はつり

正面図

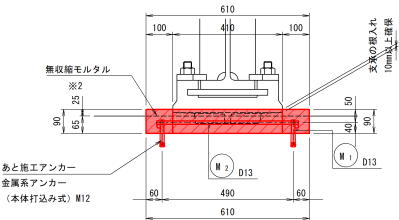


平面図

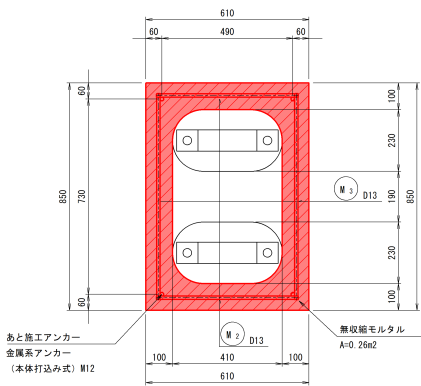


沓座モルタル設置

正面図



平面図



ネジ留り
20
50
40
10mm以上増長

4-D13x70

530
M 2 2-D13x530

770
M 2 2-D13x770

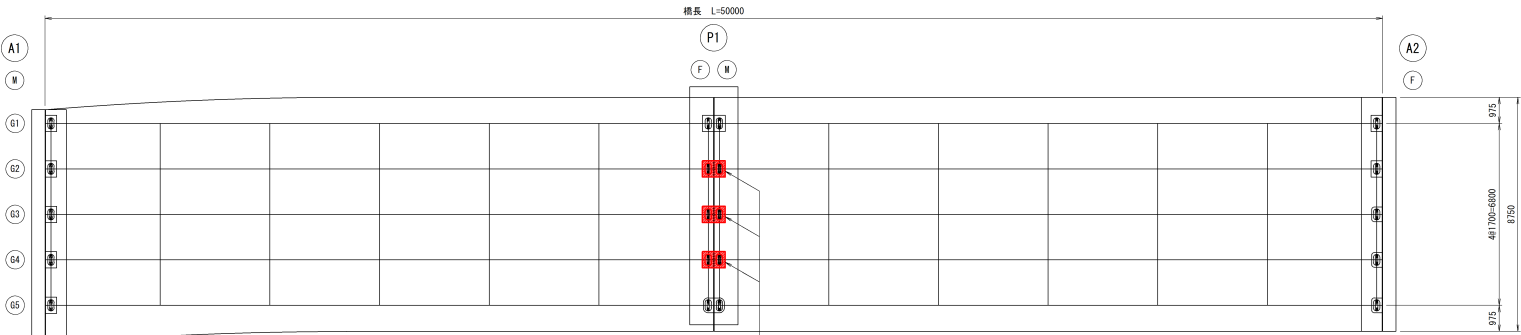
鉄筋表

(1箇所当たり)

記号	径	長さ (mm)	本数	単位質量 (kg/m)	1本当り質量 (kg)	質量 (kg)	摘要
M1	D13	70	4	0.995	0.07	1	↑
M2	D13	530	2	0.995	0.53	1	—
M3	D13	770	2	0.995	0.77	2	—
				D13		2.88 kg	(SD345)
				合計		2.88 kg	(SD345)
あと施工アンカー 金属系アンカー (本体打込み式) M12						4 本	

配置図

S=1:100



沓座モルタル再設置
N=3箇所

注記)
・現況の沓座モルタル高 (※1) は想定値を示す。
・新設の沓座モルタル高 (※2) は、現地計測の上、高さを調整すること。
・モルタルと下部工の確実な定着を図るため、鉄筋で定着するものとする。

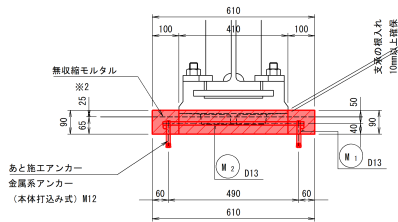
岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 17	沓座モルタル補修図 (2/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

S=1:10

沓座モルタル再設置

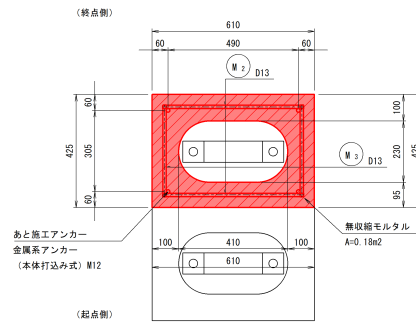
沓座モルタル設置

正面圖



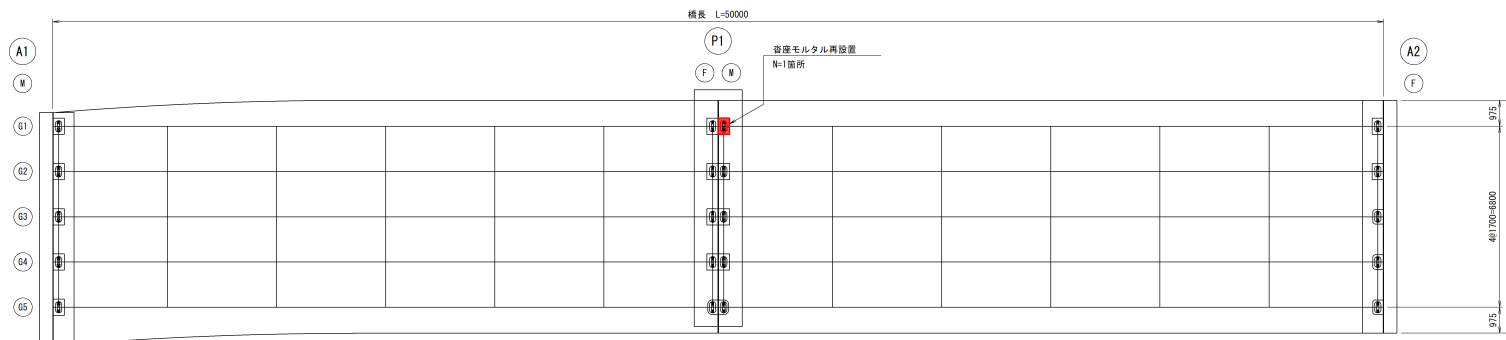
345
M 3 2-D13x350

平面図



記 号	種	長 さ (mm)	本 数	単位質量 (kg/本)	1本当り質量 (kg)	質 量 (kg)	備 考
W1	D13	70	4	0.995	0.07	1	┃
W2	D13	530	2	0.995	0.53	1	——
W3	D13	350	2	0.995	0.35	1	——
D13						2.04 kg	(SD345)
合計						2.04 kg	(SD345)
あと 土工アンカー 金属系アンカー（本体打込み型）W12							4 本

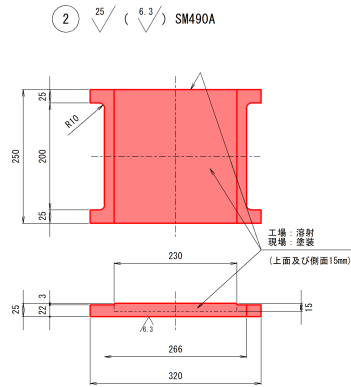
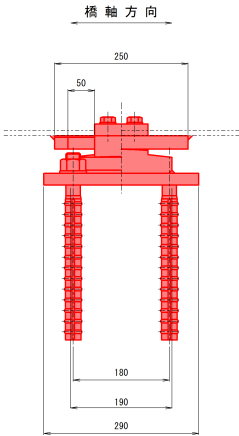
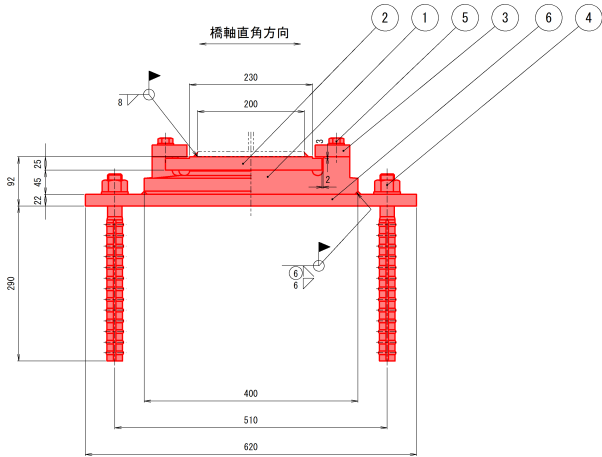
S=1 : 100



注記)
・現況の沓座モルタル高(※1)は想定値を示す。
・新設の沓座モルタル高(※2)は、現地計測の上、高さを調整すること。
・モルタルと下部工の確実な定着を図るため、鉄筋で定着するものとする。

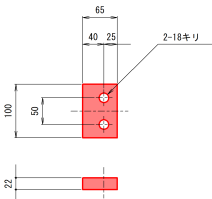
岩 手 県 釜 石 市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 18	谷座モルタル補修図 (3/3)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

取替用線支承詳細図(1/2) S=1:5

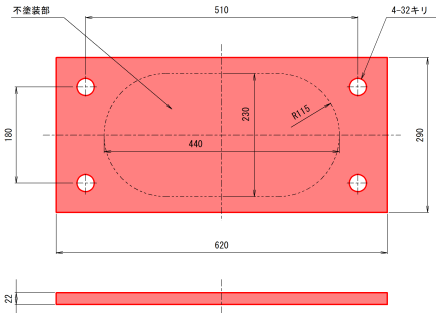


5 六角ボルト 中 M16×50 強度区分4.8
(平座金付)

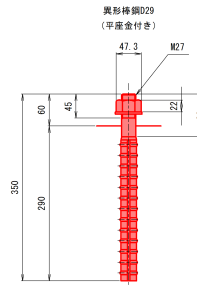
3 25 SS400



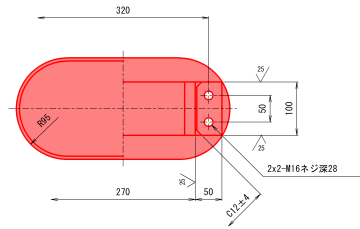
6 SM490A



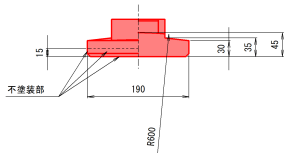
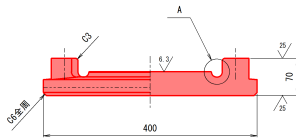
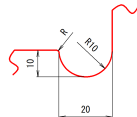
4 SD345



1 25 (6.3) SCW480N



A部詳細 S=1:1



設計条件

設計条件		
全反力	R	410 kN
死荷重反力	R _d	303 kN
橋軸方向水平力 (移動時)	R _{hir}	103 kN
橋軸方向水平力 (地震時)	R _{hiv}	61 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	R _{hvu}	61 kN
上揚力 (地震時)	V	30 kN
移動量		
計算移動量	e _l	- mm
移動可能量	e	100 mm
水平震度		
設計水平震度	K _H	0.30
摩擦係数		
設計摩擦係数	f	0.25
支承条件		
橋軸方向：可動	橋軸直角方向：固定	

材料表

部番	部品名称	H 貫	個数	重量(kg)	備考
1	下 部	SCW480N	1	23.1	
2	上 部	SM490A	1	13.3	
3	ピンチプレート	SS400	2	2.1	
4	アンカーボルト・ナット・座金	SS400	4	7.9	JIS B 1181 1個 中 M27
5	六角ボルト・座金	-	4	0.5	JIS B 1190 JIS B 1256
6	ベースプレート	SM490A	1	30.5	
全重量				77.4 (kg)	

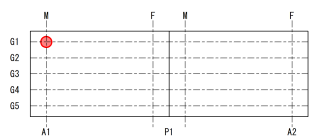
注1) 支承およびボルト部については、A1・M2溶射のこと。

注2) 現場実測後、寸法決定のこと。

注3) 現場溶接部は工場製作時に溶射までとし、現場溶接後に塗装のこと。

注4) 支承施工の際、溶接する時には車両の通行止めを行うこと。

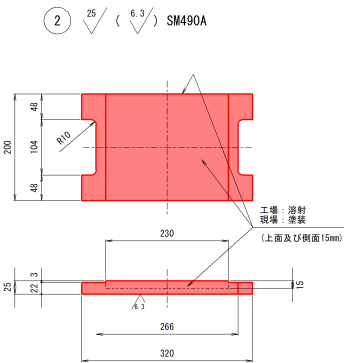
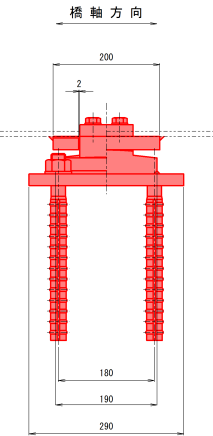
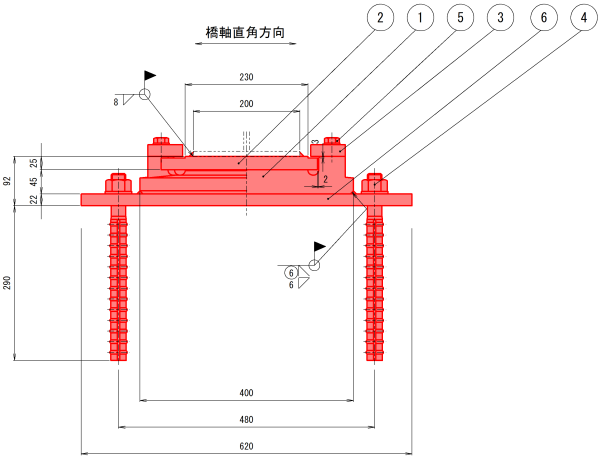
配置図



参考図

岩手県金石市	
市道坪内鍋倉線	金石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 19	取替用線支承詳細図 (1/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮尺	図示

取替用線支承詳細図(2/2) S=1:5



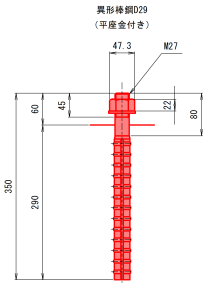
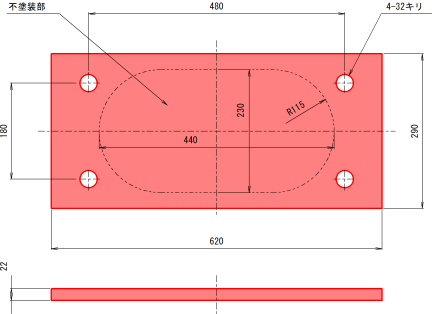
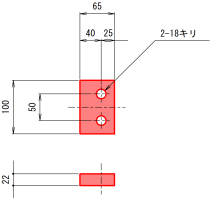
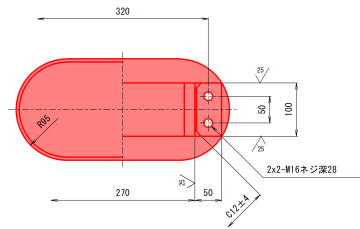
5 六角ボルト 中 M16×50 強度区分4.8
(平座金付)

3 25 SS400

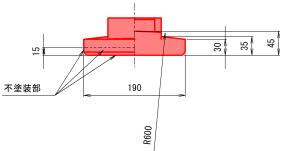
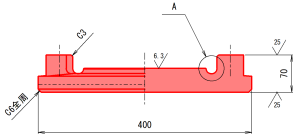
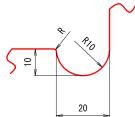
6 SM490A

4 SD345

1 25 6.3 SCW480N



A部詳細 S=1:1



設計条件

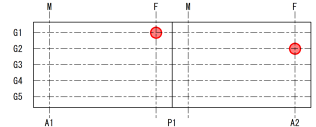
設計条件		
全圧力	R	410 kN
死荷重反力	R _d	303 kN
橋軸方向水平力 (移動時)	R _{HT}	103 kN
橋軸方向水平力 (地震時)	R _{H1}	121 kN
橋軸直角方向水平力 (地震時)	R _{H2}	61 kN
上揚力 (地震時)	V	30 kN
水平震度		
設計水平震度	K _H	0.30
摩擦係数		
設計摩擦係数	f	0.25
支承条件		
橋軸方向: 固定	橋軸直角方向: 固定	

材料表

部番	部品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	下板	SCW480N	1	23.1	
2	上板	SM490A	1	11.2	
3	ピンチプレート	SS400	2	2.1	
4	アンカーボルト・ナット・座金	SS400	4	7.9	JIS B 1181 1種 10 M24
5	六角ボルト・座金	—	4	0.5	JIS B 1180 JIS B 1256
6	ベースプレート	SM490A	1	30.5	
全重量				75.3 (kg)	

- 注1) 支承およびボルト部については、A1・M2溶射のこと。
注2) 現場実測後、寸法決定のこと。
注3) 現場溶接後は工場製作時に溶射までとし、現場溶接後に塗装のこと。
注4) 変形施工の際、溶接する時には車両の通行止めを行うこと。

配置図



参考図

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 20	取替用線支承詳細図 (2/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

橋面補修図(1/2)

平面図 S=1:100

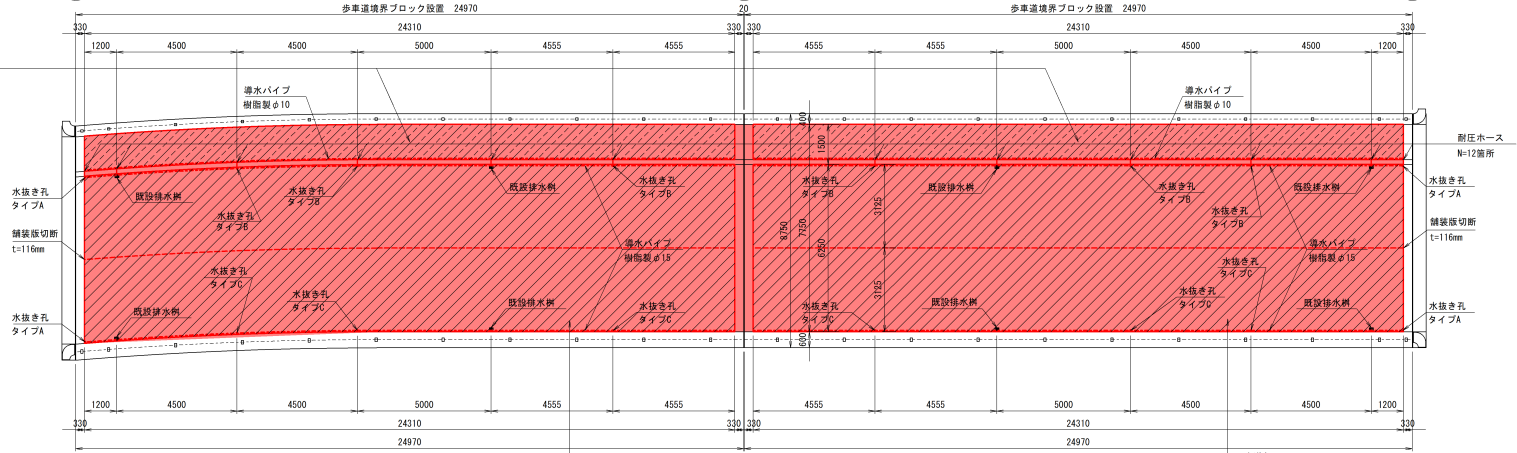
＜歩道部＞

- ・既設撤去
アスファルト舗装 t=50mm
砕石 t=254~280mm
- ・新設
アスファルト舗装 t=30mm
床版防水層（差込系防水）
調整コンクリート t=80~106mm

A1

P1

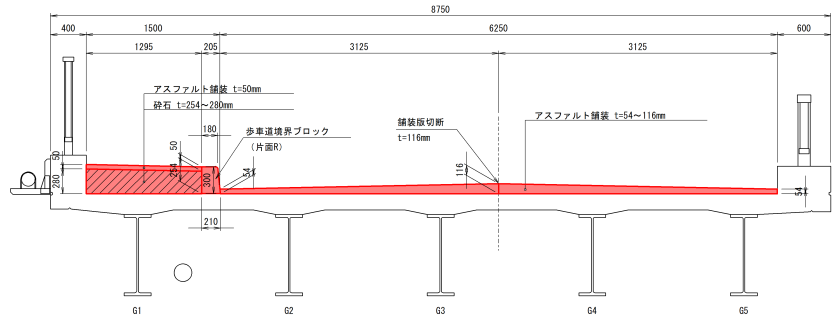
A2



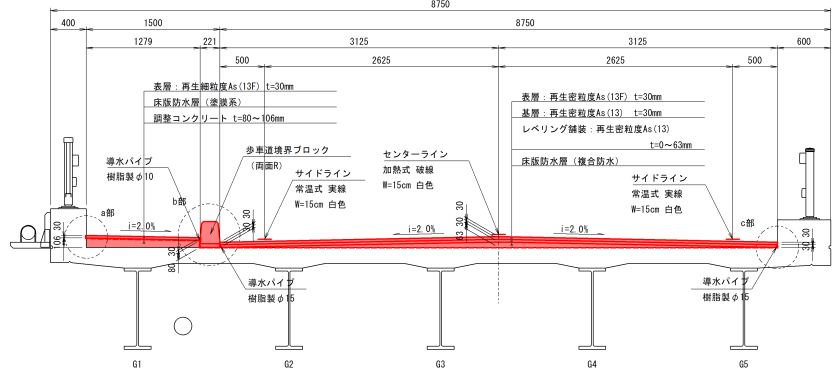
断面図 (既設撤去) S=1:30

- ＜車道部＞
- ・既設撤去
アスファルト舗装 t=54~116mm
 - ・新設
アスファルト舗装 t=60~123mm
床版防水層（複合防水）

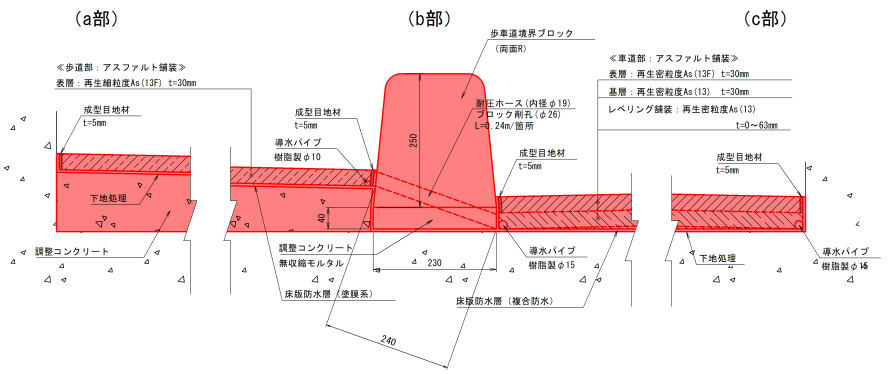
- ＜車道部＞
- ・既設撤去
アスファルト舗装 t=54~116mm
 - ・新設
アスファルト舗装 t=60~123mm
床版防水層（複合防水）



(新設)



端部詳細図 S=1:5



- 【注記】
- ・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
 - ・既設撤去を撤去する際には事前にアスファルト舗装の厚さを確認し、床版を傷つけないように注意すること。
 - ・導水パイプの底面は水抜き孔および既設排水樹に接続すること。
 - ・床版を削る際には事前に鉄筋探索を行い、床版鉄筋を切断しないように位置を調整すること。
 - ・水抜き孔の流れは主桁や下部工に排水がからないように調整すること。
 - ・車道部の既設排水樹および水抜き孔の位置に合わせ、歩車道境界ブロックに耐圧ホースを設置すること。
 - ・車道部は片側工とする。

岩手県釜石市	
市道坪内鎮倉線	釜石市甲子町第9地割内
全 30 枚ノ中 其 21	橋面補修図(1/2)
令和 7 年度	
坪内鎮倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

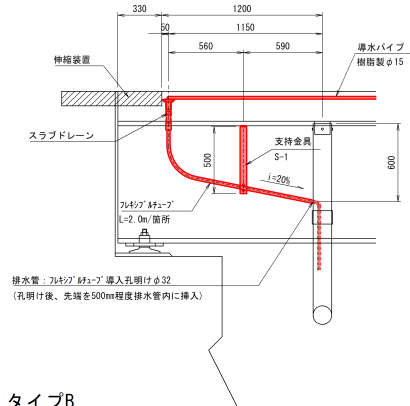
橋面補修図(2/2)

水抜き孔詳細図

S=1:20

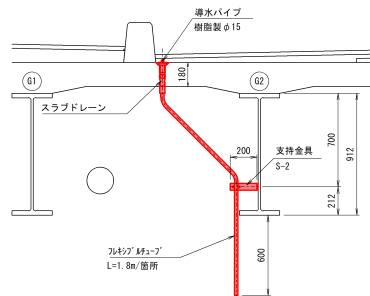
タイプA

(設置箇所数：4箇所)



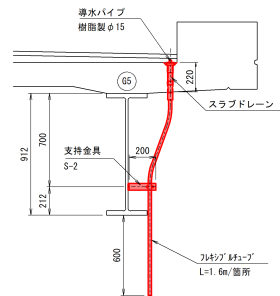
タイプB

(設置箇所数：6箇所)



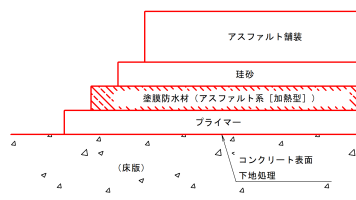
タイプC

(設置箇所数：6箇所)

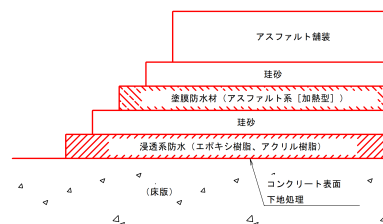


床版防水層詳細図

(塗膜系防水)



(複合防水)

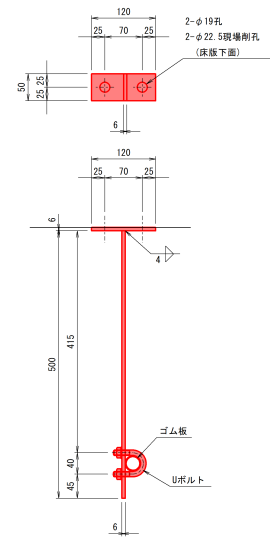


支持金具詳細図

S=1:5

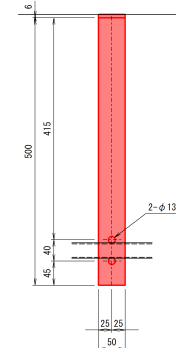
S-1

製作数：4



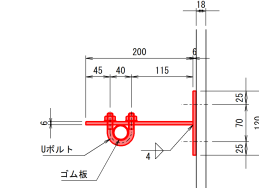
《1箇所当たり数量》

- 1-PL 50×6×500(SM400A)
1-PL 50×6×120(SM400A)
2-コングリトアーカー(リ-ア) 打込み式 M16×120
(剛孔径22.5mm, 剛孔長62mm)
1-U Bolt 呼び 20B(2-N1種)
※1-ゴム板 40×2×70



S-2

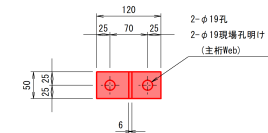
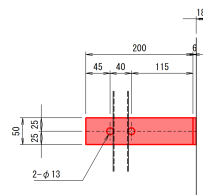
製作数：12



《1箇所当たり数量》

- 1-PL 50×6×200 (SM400A)
1-PL 50×6×120 (SM400A)
2-BN M16×50 (2-#付)
1-U Bolt 呼び 20B (2-N1種)
※1-ゴム板 40×2×70

《1箇所当たり現場孔明け》



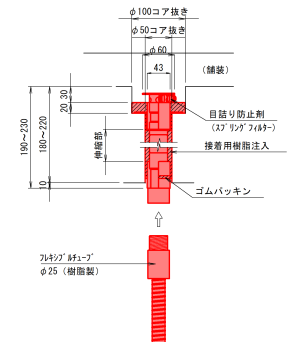
注記)

- ・園中の緑地排水等は、現地計測の上、決定すること。
 - ・導水パイプの流束は水抜きおよび既設排水口に接続すること。
 - ・仮座を所札する際には事前に数箇所探査を行い、仮版設置を切斷しないように位置を調整すること。
 - ・水抜き孔の流束は主幹や下部工に排水がつかないよう調整すること。
 - ・水径以外の鋼材は溶接を給ふキ処理とす。
- 塗装規格については、厚さ6mm以上はHDZ777、厚さ3mm以上はHDZ763、厚さ1mm以上またはボルト・ナット及び
 六角栓を組える厚さはHDZ749とす。

スラブドレーン詳細図

(180mm~225mm用)

S=1:5



岩 手 県 釜 石 市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 22	橋面補修図 (2/2)
令和 7	年度
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

断面図 S=1:20

Technical drawings illustrating the removal of existing drainage pipes (N=4) for two different pipe types.

Left Drawing (Type 1): Shows a side view of a drainage pipe (G1) being cut and removed. The pipe is labeled "既設排水管撤去" (Existing drainage pipe removal). The cutting point is marked "切断". The dimension of the pipe is 1150 mm. The pipe is labeled "1-Pipe φ114.3 x 4.5 x 1150".

Right Drawing (Type 2): Shows a side view of a drainage pipe (G5) being cut and removed. The pipe is labeled "既設排水管撤去" (Existing drainage pipe removal). The cutting point is marked "切断". The dimension of the pipe is 1100 mm. The pipe is labeled "1-Pipe φ114.3 x 4.5 x 1100".

Technical drawings of two types of vertical support structures, labeled 61 and 62 on the left, and 65 on the right. Each drawing shows a cross-section of a structure with a vertical support member, a horizontal support member, and a drainage pipe. Dimensions are provided for various parts, including heights (750, 800, 1550, 1900), diameters ($\phi 165.0$), and distances (D-1, D-2, D-3, D-4). Labels include "支持金具 V-1" (Support Fitting V-1), "支持金具 D-1, D-4" (Support Fitting D-1, D-4), "排水管" (Drainage Pipe), and "上" (Up). The left side shows two views (61 and 62) of a structure with a drainage pipe. The right side shows a view (65) of a structure with a drainage pipe. The drawings are technical and include dimensions and labels.

Left side (61, 62):

- Support Fitting V-1
- Support Fitting D-1, D-4
- Drainage Pipe
- Dimensions: 750, 800, 1550, 1900, $\phi 165.0$, D-1: 461, D-4: 700

Right side (65):

- Support Fitting V-1
- Support Fitting D-2, D-3
- Drainage Pipe
- Dimensions: 700, 1500, 1900, $\phi 165.0$, D-2: 539, D-3: 300

Below the drawings:

◁1面相当り数量＞ N=4
1 - VP150A × 1550

◁1面相当り数量＞ N=4
1 - VP150A × 1500

注記)

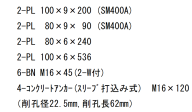
- ・ 図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
- ・ 特記なき材質は、全てSS400とする。
- ・ 鋼材は溶融亜鉛メッキ処理とする。

規格（厚厚）について、鋼板（板厚6mm以上）はHDZT77
ボルト、ナット及び板厚2.3mmを超える座金はHDZT49とする。

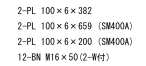
岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 23	排水管補修図 (1/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

S=1:10

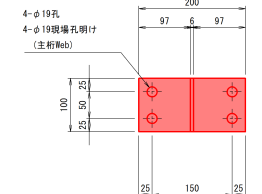
製作数：8



D-3 : 3

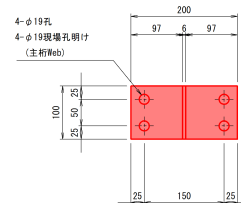
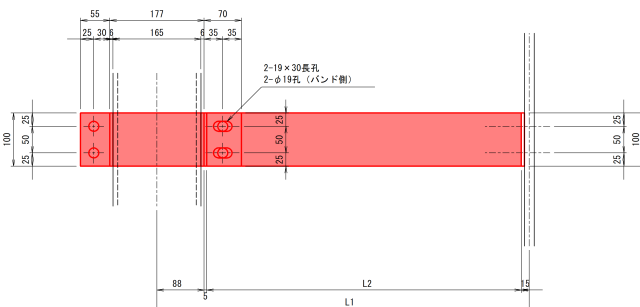


8- ϕ 19孔



4- ϕ 19孔

(主析Web)



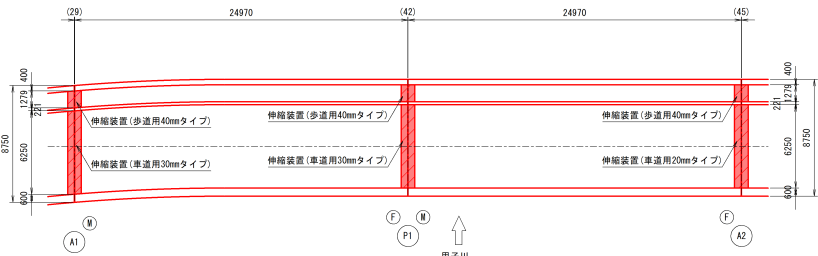
規格（膜厚）について、銅板（板厚6mm以上）はHDZT77
ボルト、ナット及び板厚2.3mmを超える座金はHDZT49とする。

岩 手 県 金 石 市	
市道 坪内 鍋倉 線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 24	排水管補修図 (2/2)
令和 7 年度	
坪内 鍋倉 線 (坪内横) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

伸縮装置詳細図(1/2)

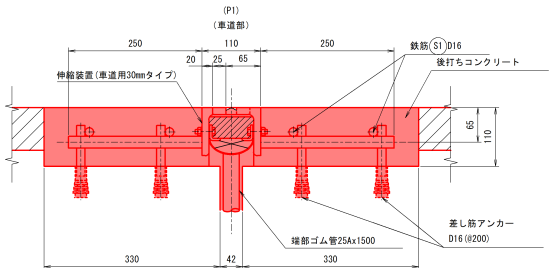
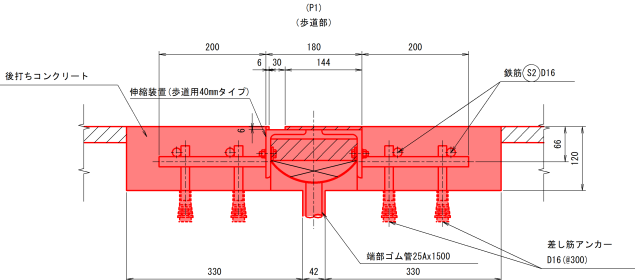
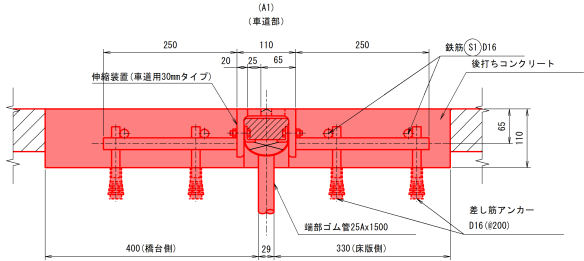
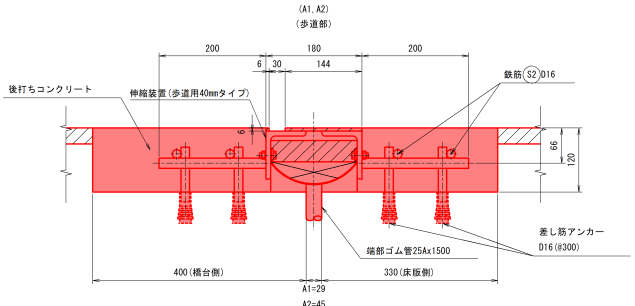
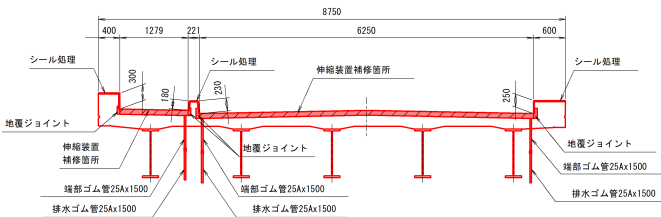
取付断面図 S=1:5

平面図 S=1:200



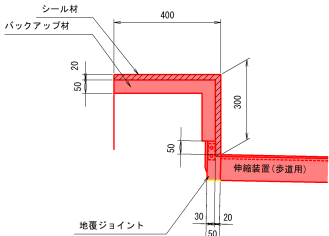
※ () 内寸法は現地測定値を(+10°C)に換算した値を示す。

断面図 S=1:50

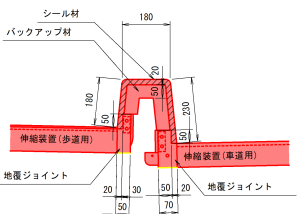


詳細図 S=1:10

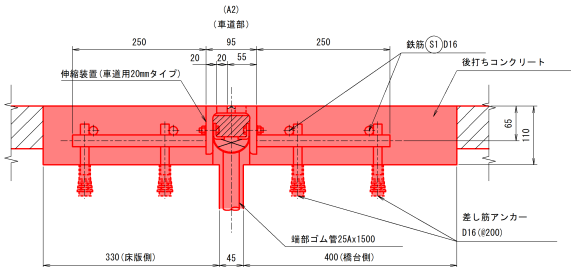
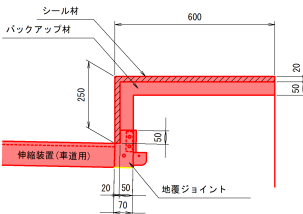
歩道側地覆部



歩道境界部



車道側地覆部



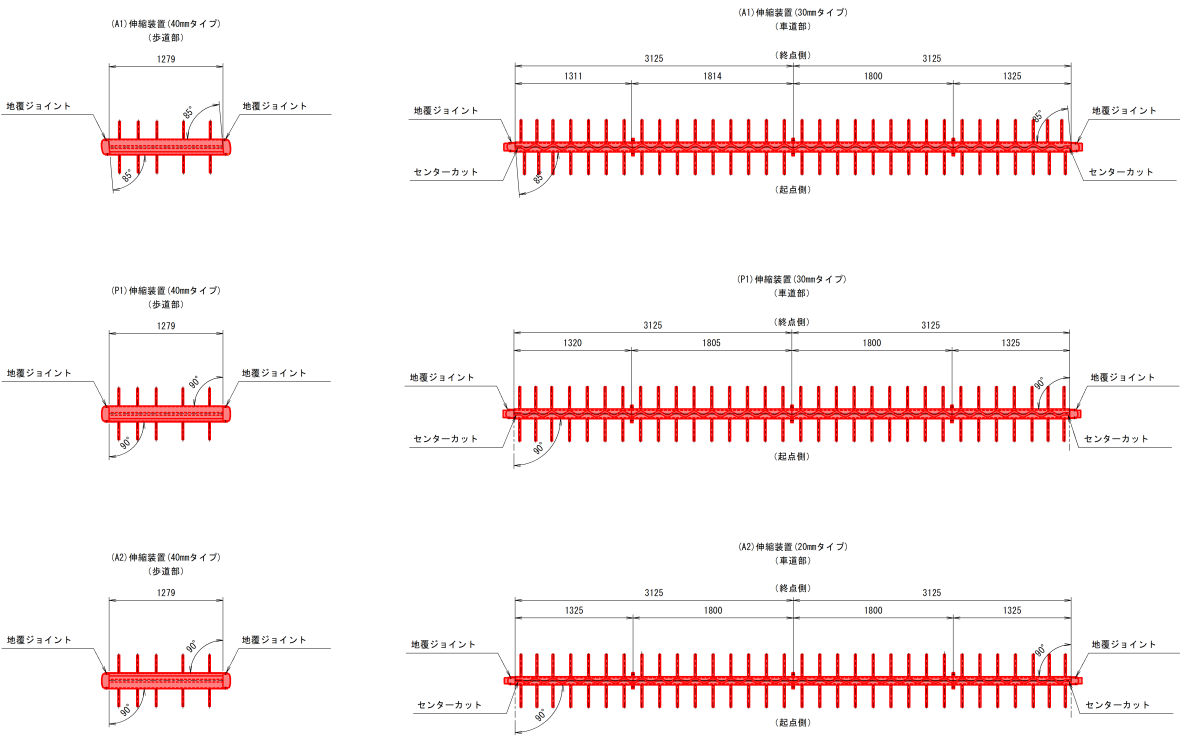
参考図

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 25	伸縮装置詳細図(1/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線(坪内橋)橋梁補修工事	
縮尺	図示

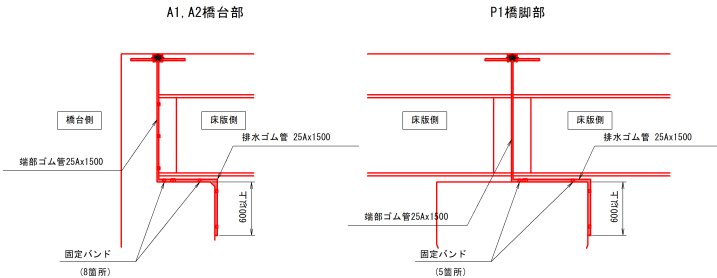
注記
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

伸縮装置詳細図 (2/2)

製品割付図 S=1:30



排水ゴム管詳細図 S=1:30

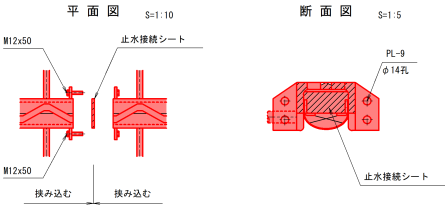


数量表

品名	仕様・規格	単位	A1	P1	A2	合計	備考
車道用伸縮装置	20mm型	m	-	-	6.250	6.250	
車道用伸縮装置	30mm型	m	6.250	6.250	-	12.500	
歩道用伸縮装置	40mm型 (特)	m	1.279	1.279	1.279	3.837	
車道用地震ジョイント		箇所	-	-	2	2	伸縮量20mm対応型
車道用地震ジョイント		箇所	2	2	-	4	伸縮量30mm対応型
歩道用地震ジョイント		箇所	2	2	2	6	伸縮量40mm対応型
鉄筋(①) (通し筋)	D16 SD345	kg	39.00	39.00	39.00	117.00	車道部
鉄筋(②) (通し筋)	D16 SD345	kg	7.98	7.98	7.98	23.94	歩道部
差し筋アンカー	D16付 (L=200)	本	128	128	128	384	車道部
差し筋アンカー	D16付 (L=300)	本	20	20	20	60	歩道部
超速硬コンクリート	$\sigma_{pc}=24.0N/mm^2$	m ³	0.502	0.454	0.502	1.458	車道部
超速硬コンクリート	$\sigma_{pc}=24.0N/mm^2$	m ³	0.112	0.101	0.112	0.325	歩道部
シール材	低モジュラス	ℓ	1.49	2.16	2.31	5.96	地震部
バックアップ材		ℓ	3.10	4.49	4.82	12.41	地震部
端部ゴム管	25Ax1500	本	2	2	2	6	車道部
端部ゴム管	25Ax1500	本	1	1	1	3	歩道部
排水ゴム管	25Ax1500	組	2	2	2	6	車道部 固定金具含む
排水ゴム管	25Ax1500	組	1	1	1	3	歩道部 固定金具含む

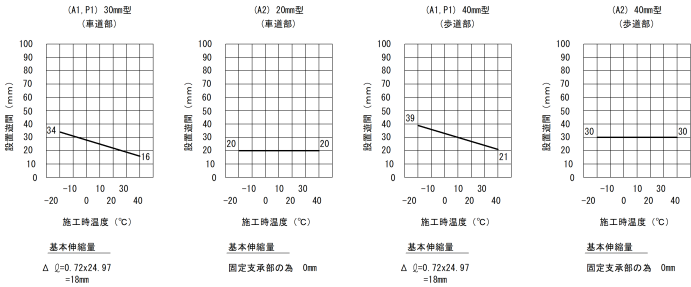
※ 図面寸法は、標準温度時の値とする。
※ 材料製作前に必ず現地寸法の確認を行う事。
※ 止水構造は接着剤や加硫接着のみの止水構造ではなく支持用の部材を用いて支持する構造である事。
※ 押込力10KN対応型のものとする。
※ 50年相当の止水性能 (NEXCO試験法438の実施)、および耐久性を有する製品とする。

連結部止水接続シート詳細図



※ プライマーを塗布し、指触乾燥後挟み込むこと。

遊間設置表



注記
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。

参考図

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割内
全 30 枚ノ中 其 26	伸縮装置詳細図 (2/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

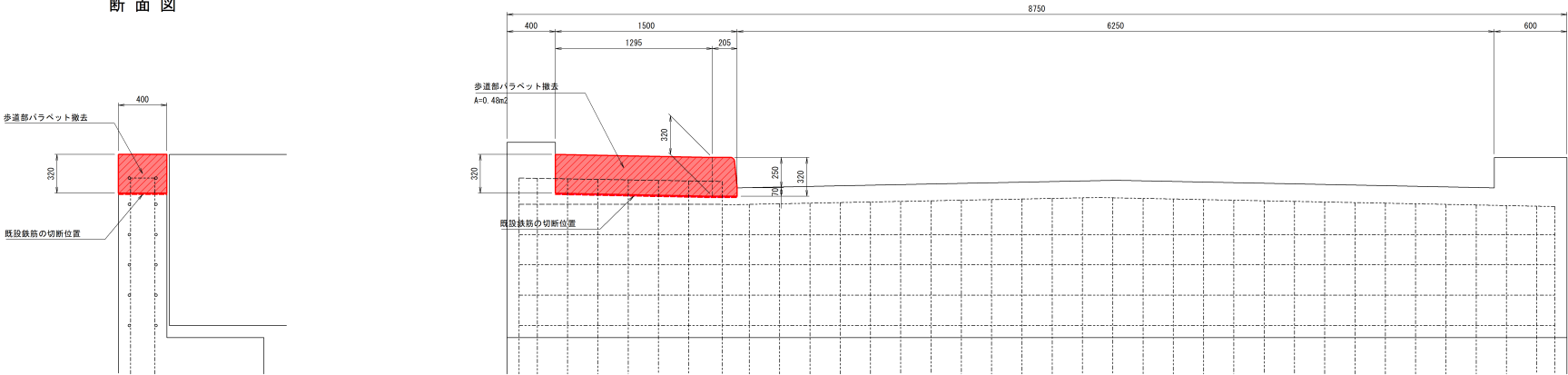
歩道部パラペット撤去工詳細図

S=1:20

A1, A2橋台共通

正面図

断面図

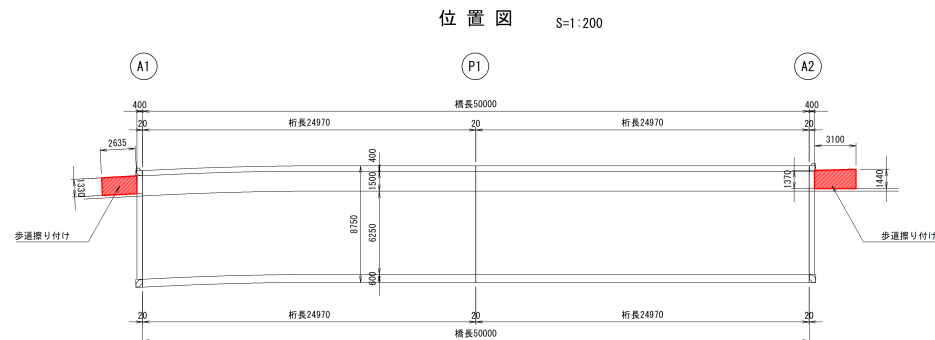
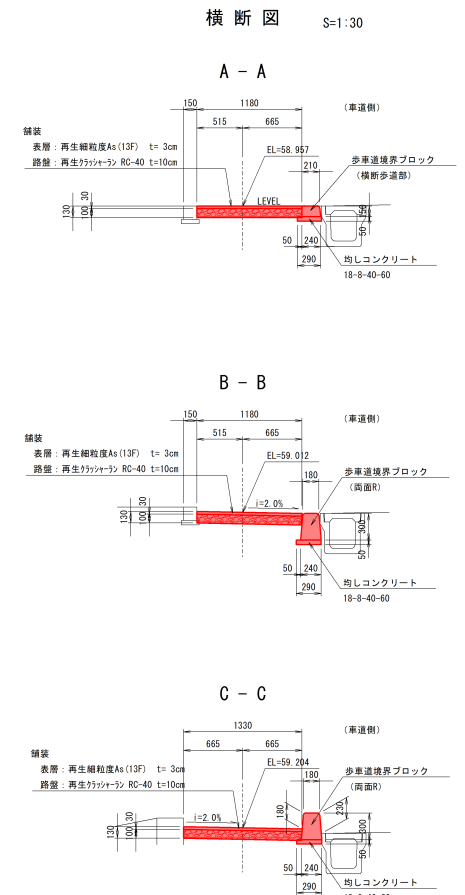


注記)
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・既設の鉄筋は、撤去部分の下面に合わせて切断すること。

岩 手 県 釜 石 市	
市 道 坪 内 鍋 倉 線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 27	歩道部パラペット 撤去工詳細図
令和 7 年 度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

A1橋台側

(舗装擦り付け)



注記)

- ・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
- ・下水道管が埋設されているため、施工前に台帳を確認し埋設管を傷つけないよう注意すること。

岩 手 県 金 石 市	
市道坪内銅倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 28	歩道擦り付け詳細図 (1/2)
令和 7 年度	
坪内銅倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮 尺	図 示

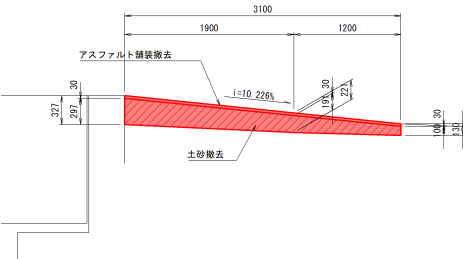
歩道擦り付け詳細図(2/2)

A2橋台側

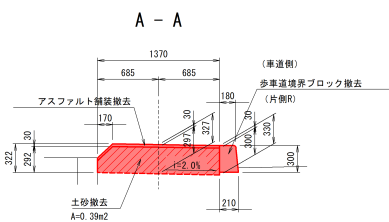
(既設舗装撤去)

(舗装擦り付け)

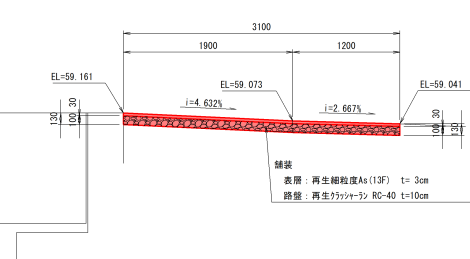
縦断面図 S=1:30



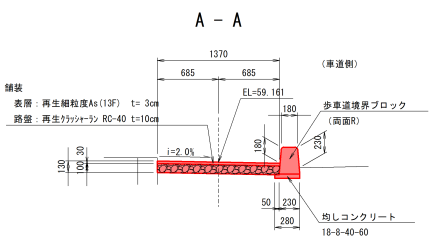
横断面図 S=1:30



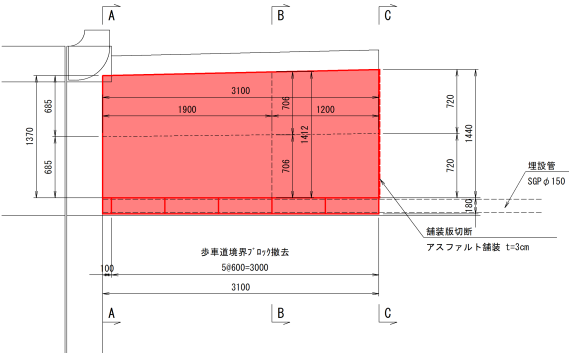
縦断面図 S=1:30



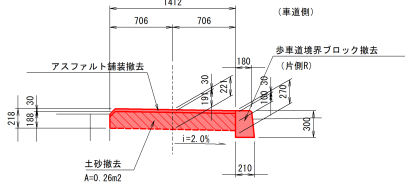
横断面図 S=1:30



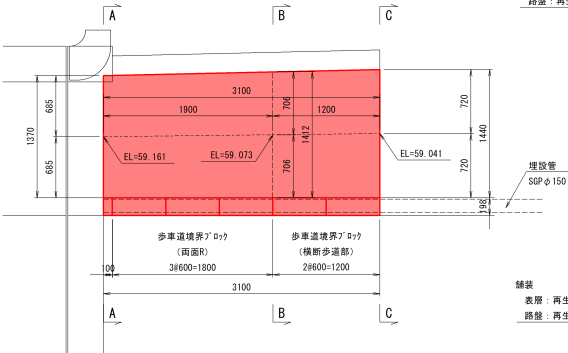
平面図 S=1:30



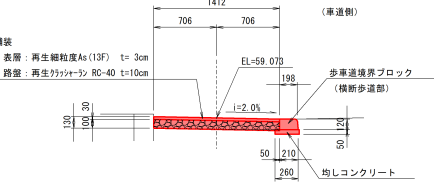
B-B



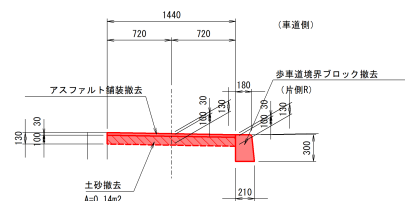
平面図 S=1:30



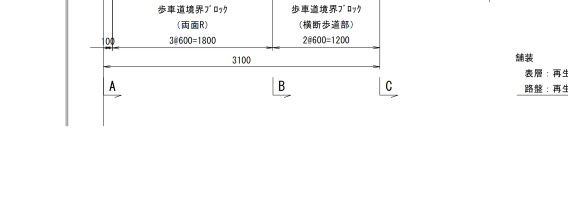
B-B



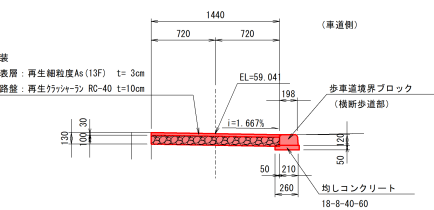
C-C



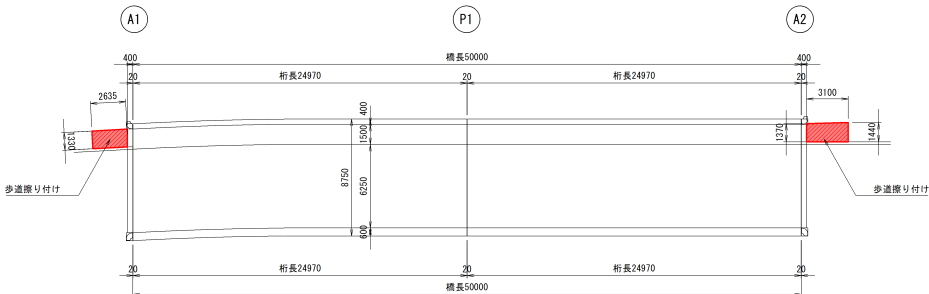
平面図 S=1:30



C-C



位置図 S=1:200



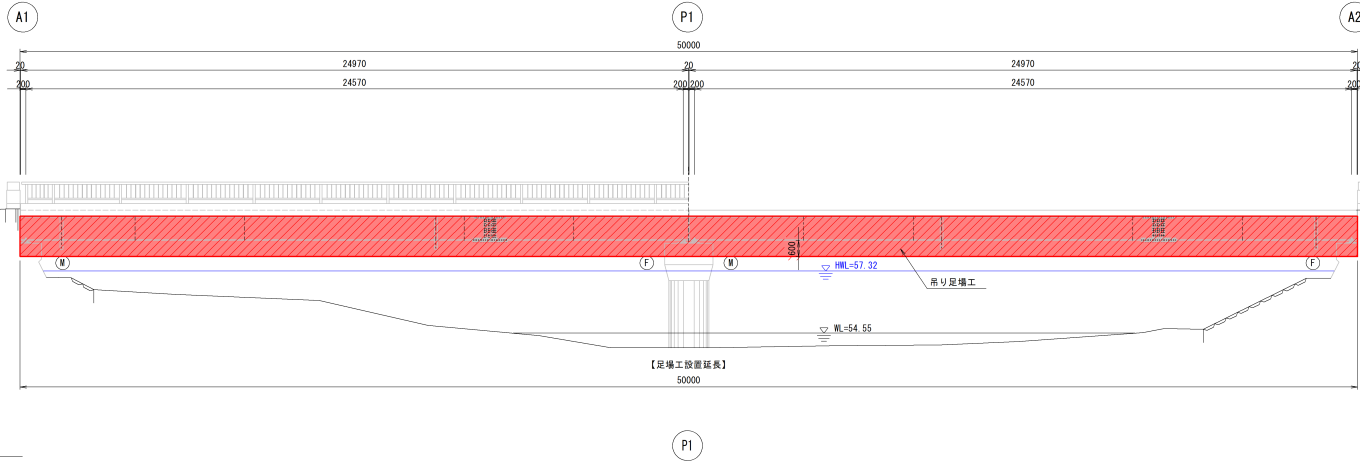
注記
・図中の詳細寸法等は、現地計測の上、決定すること。
・上水道管が埋設されているため、施工前に台帳を確認し埋設管を傷つけないよう注意すること。

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚ノ中 其 29	歩道擦り付け詳細図 (2/2)
令和 7 年度	
坪内鍋倉線 (坪内橋) 橋梁補修工事	
縮尺	図示

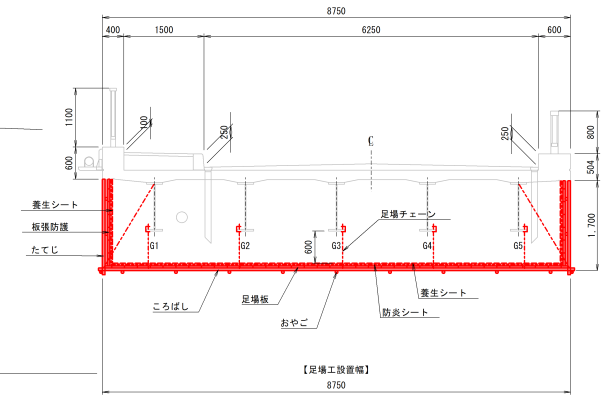
施工計画図

足場工

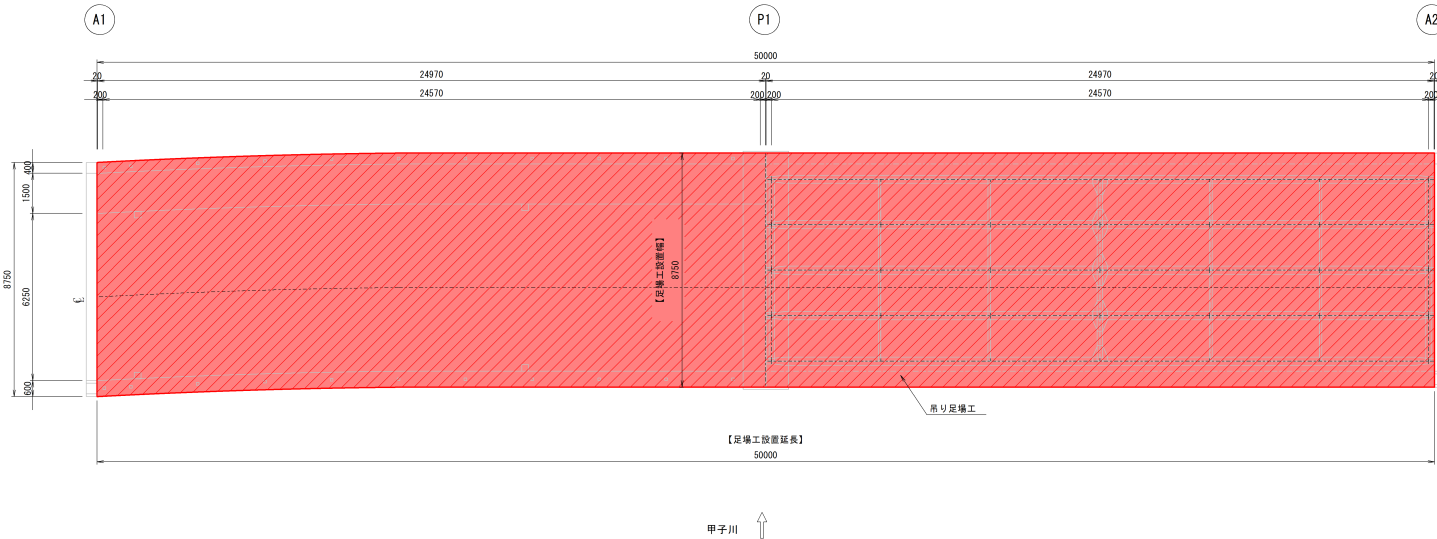
側面図 S=1:100



断面図 S=1:50



平面図 S=1:100



参考図

岩手県釜石市	
市道坪内鍋倉線	釜石市甲子町第9地割地内
全 30 枚 / 中 其 30	施工計画図
令和 7 年度	
坪内鍋倉線（坪内橋）橋梁補修工事	
縮 尺	図 示